令和７年度　第１回高知県スポーツ振興県民会議　次第

日時：令和７年７月16日（水）
13:30～15:30
場所：サンライズホテル　向陽の間

１　開会

２　議事

（１）第３期高知県スポーツ推進計画の取組状況について

（２）その他

・新県民体育館の整備等について

・高知南中学校・高等学校跡地の活用について

・高知県スポーツ振興県民会議委員の次期改選について

３　閉会

＝＝

資料1-1　第３期高知県スポーツ推進計画について
資料1-2　『柱１　スポーツ参加の拡大』の取組状況等について
資料1-3　『柱２　競技力の向上』の取組状況等について
資料1-4　『柱３　スポーツを通じた活力ある県づくり』の取組状況等について
資料２　新県民体育館の整備等について
資料３　高知県立県民体育館多目的グラウンド及びテニスコートの供用開始について

参考資料１　第３期高知県スポーツ推進計画の目標達成状況について（令和６年度末時点）
参考資料２　令和７年度スポーツ施策の取組状況（重点施策）について
参考資料３　令和７年度各部局のスポーツ関連施策の取組状況について

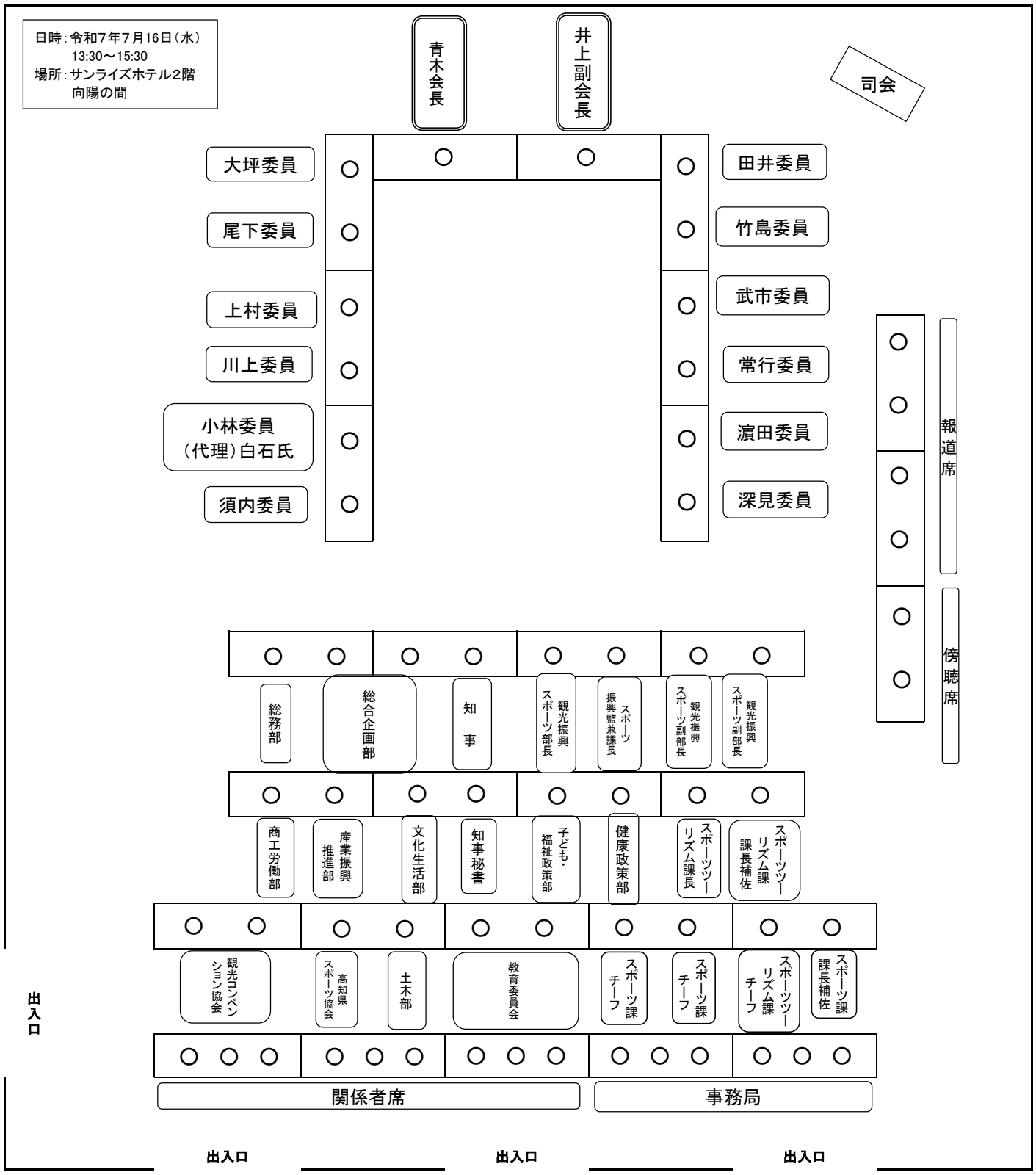
高知県スポーツ振興県民会議　委員名簿

〈五十音順〉
任期：R5.8.16～R7.8.15

	氏　名	所　属・役　職	出 欠
1	青　木　章　泰	公益財団法人高知県スポーツ協会　会長	出席
2	井　上　浩　之	社会福祉法人高知県社会福祉協議会　会長	出席
3	大　坪　豊　寿	公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士	出席
4	尾　下　一　次	公益財団法人高知県スポーツ振興財団　理事長	出席
5	上　村　誠	高知県町村会　会長	出席
6	刈　谷　三　郎	国立大学法人高知大学　名誉教授	（欠席）
7	川　上　照　彦	公益財団法人高知県スポーツ協会 スポーツ医・科学委員会委員長	出席
8	桑　名　龍　吾	高知県市長会　会長	（欠席）
9	小　林　達　司	株式会社四国銀行　頭取	白石 常務取締役 代理出席
10	生　島　淳	高知学園短期大学　看護学科教授	（欠席）
11	新　開　祐　二	一般社団法人日本旅行業協会中四国支部 高知地区委員会委員長	（欠席）
12	須　内　康　雄	高知県小中学校長会　会長	出席
13	田　井　直　子	特定非営利活動法人総合クラブとさ　副理事長	出席
14	竹　﨑　実	高知県高等学校長協会　会長	（欠席）
15	竹　島　晶　代	公益財団法人高知県スポーツ協会　副会長 モスクワオリンピック　バレーボール競技日本代表	出席
16	武　市　光　徳	高知県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会　理事長	出席
17	常　行　泰　子	公立大学法人神戸市外国語大学　准教授	出席
18	寺　村　妙	子育て支援サークル　ままだいすき代表 高知県少子化対策推進県民会議委員	（欠席）
19	中　平　雅　彦	株式会社高知新聞社　代表取締役社長	（欠席）
20	濵　田　美　穂	土佐女子中学高等学校長	出席
21	深　見　英　治	株式会社高知銀行　常務取締役	出席
22	前　田　和　範	高知県公立大学法人高知工科大学　講師 一般社団法人高知県スポーツコミッション　理事	（欠席）
23	森　下　安　子	公益社団法人高知県看護協会　会長	（欠席）
24	矢　野　宏　光	国立大学法人高知大学教育学部　教授	（欠席）

令和7年度　第1回高知県スポーツ振興県民会議　配席図

日時：令和7年7月16日（水）
13:30～15:30
場所：サンライズホテル2階
向陽の間



資料１－１

第３期高知県スポーツ推進計画（令和５年度～令和９年度）について

計画の基本方針（第３期高知県スポーツ推進計画が目指すもの）

本県のスポーツの現状と課題を捉えたうえで、誰もがスポーツの楽しさや感動を得られる環境をつくるとともに、青少年の健全育成や女性のスポーツ参加促進、共生社会の実現、生きがいづくりや健康づくり、地域間・世代間などの様々な交流の促進など、スポーツを通じて全ての県民や県内全ての地域を元気にする取り組みを進め、スポーツの楽しさや感動を共有し、希望と活力ある社会の実現を目指す。

また、スポーツを通じて、グローバルな社会課題を解決し、持続可能な世界の実現を目指すための国際目標であるSDGs（＊）の達成に貢献する。

目指す姿

スポーツの楽しさや感動を共有し希望と活力ある社会の実現

基本理念

目指す姿の実現に向け２つの基本理念を設定

（１）誰もがスポーツの楽しさや感動を得られる環境づくりを推進する

県内すべての地域において、年齢、性別、障害の有無等に関わらず、誰もがスポーツによって「楽しさ」や「感動」を得られるよう、身近な地域で安心・安全に多様なスタイルでスポーツに親しむことができるとともに競技者や指導者が全国や世界を目指すことができる環境づくりを進める

（２）スポーツを通じて全ての県民や地域を元気にする

楽しさや感動が得られる多様なスポーツ活動を通じて、青少年の健全育成や共生社会の実現、生きがいづくりや健康づくり、地域間・世代間などの様々な交流の促進による地域の活性化など幅広い分野にスポーツの効果をつなげることを目指し、県民や地域を元気にする取り組みを進める

取り組み目標

目指す姿と計画の基本理念に基づき、

以下の３本柱の取り組み目標とこれらに横断的に関わる施策を定め、取り組みを推進する

◆施策の柱１　スポーツ参加の拡大

運動やスポーツが好きな子どもを増やす/全ての地域で多様なスポーツ参加を拡大

将来を見据え、運動やスポーツが好きな子どもを増やすとともに、県民の誰もが身近な地域で安心・安全にスポーツに親しむことができる機会の拡充を図り、「みる」「する」「ささえる」といった多様なスタイルで日常的にスポーツに参加する人口の増加を目指す

◆施策の柱２　競技力の向上

全国や世界で活躍する選手を多数輩出する

有望選手の発掘や系統的・組織的な育成・強化のさらなる充実を図り、全国トップレベルの選手を数多く育成するとともに、オリンピック・パラリンピックをはじめとする世界トップレベルの大会に出場するなど、日本を代表する選手やそうした選手を支える指導者等を本県から多数輩出することを目指す

◆施策の柱３　スポーツを通じた活力ある県づくり

スポーツを通じて地域や経済を活性化

スポーツツーリズムの推進を通じて、スポーツによる県外からの誘客の増加等を図り、交流人口の拡大、健康づくり、まちづくり、雇用の創出など、地域や経済の活性化につなげる

◆３本の柱に横断的に関わる施策

デジタル技術の活用、産学官民の連携によるスポーツを支える体制の充実

新型コロナウイルス感染症の拡大やデジタル技術の革新によるライフスタイルの変化などの社会環境の変化による対応し、持続可能なスポーツ環境づくりを産学官民が連携して取り組みを進めます。

令和６年度に、パリ2024オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツ機運の高まりやスポーツ活動へのニーズの変化に対応するため、取り組みの見直しや追加を行い、「第３期高知県スポーツ推進計画Ver.2」へバージョンアップ

第３期高知県スポーツ推進計画 『柱１ スポーツ参加の拡大』の取組状況等について

資料１－２

１ 第３期高知県スポーツ推進計画（R5～R9）の取組状況（令和７年度6月末時点）

項目	R9 目標	設定当初(R4)	R５			R6			R７			R８			R9		
			目標	実績	達成度	目標	実績	達成度	目標	実績	達成度	目標	実績	達成度	目標	実績	達成度
運動が好きな子どもの割合	R4から５ポイント増	小5男92.1% 小5女85.9% 中2男89.5% 中2女79.1%	R4から１ポイント増	小5男93.2% 小5女89.3% 中2男86.3% 中2女77.4%	小5男：S 小5女：S 中2男：D 中2女：D	R4から２ポイント増	小5男92.5% 小5女84.7% 中2男91.2% 中2女77.5%	小5男:D 小5女:D 中2男:B 中2女:D	R4から３ポイント増	今冬公表予定		R4から４ポイント増			R4から５ポイント増		
成人の週１回以上のスポーツ実施率	65%	51%	－	－	－	－	－	－	65%	「県民世論調査」実施予定		65%	自主調査実施予定		65%		
障害者が活動できるチームや団体数	37団体	27団体	29団体	29団体	A	31団体	30団体	B	33団体	31団体	S	35団体			37団体		

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率110%以上
A	100%以上110%未満
B	85%以上100%未満
C	70%以上85%未満
D	70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

R６の主な成果○課題●

○子どものスポーツ環境づくりに取り組む市町村や広域で連携して課題解決に取り組む地域は、目標に届いていないものの着実に増加している
○小学生までを対象とした運動遊びやスポーツ体験等のイベント（マッチングプログラム）への参加者が年々増加している
○子どもの体力は、小中の男女ともに４年連続で全国平均を上回っている
●若い世代のスポーツ実施率が中高年に比べて低い
●スポーツを支える人材の育成・確保が必要
●障害者が活動できるスポーツ団体は着実に増加しているが、地域の偏りがみられる

【参考資料１参照】

R７取組の強化ポイント

○若者の関心が高い新たなスポーツの推進
子どもや若者がさらにスポーツに親しみ、裾野の拡大や競技力の向上につながるよう、若い世代の関心が高い新たなスポーツの推進に取り組む
○スポーツを支える人材の育成・確保
地域におけるスポーツ指導者や障害者のスポーツ活動を支援する人材確保のため、競技団体に所属していない方や企業・大学などの人材の掘り起こし・マッチングを行う取組を進める
○障害者のスポーツ機会の拡充・支援体制の強化
取組の中心的な役割を担う障害者スポーツセンターの機能強化をするとともに、関係機関・団体と連携して障害者スポーツを支援する体制の充実を図る

２ Ｒ７の主な取組

(1)子どものスポーツ環境づくり

【事業概要】
市町村が行う子どものスポーツ環境づくりへの支援を行うとともに、複数の市町村が広域で連携する取組について、民間団体の協力や県版地域おこし協力隊の配置などにより、効果的に進める （参考資料２ p.１参照）

【R7年度末の目標値】
①子どものスポーツ環境づくりについて関係者が連携して対応する体制をつくり取り組んでいる市町村数 →**24市町村**
②広域で連携した取組が展開できているエリア数 →**４エリア**
③子どもの体力・運動習慣の向上
→**小中学生の男女とも全国平均を上回る**

【R7.6末実績（達成度）】
①７市町村（S）
②２エリア（S）※幡多・嶺北
③12月公表（－）

【見えてきた課題】
○新たなスポーツ関連予算の確保が難しい市町村の取組の充実
○広域的な取組を充実させるためには、地域で広域的な活動を推進する人材の確保が必要

(2)若者の関心が高い新たなスポーツの推進

【事業概要】
県内の若者が地域で活躍する場を創出するため、若者が主役となれる参加型イベントの実施により地域の活性化及びスポーツの推進を図る
（参考資料２ p.１参照）

【R7年度末の目標値】
○イベントへの参加者数
・アーバンスポーツイベント→**1,000人**
・eスポーツイベント→**2,000人**
・ジュニア競技大会・体験教室(ﾚｽﾘﾝｸﾞ)
→**520人**
・インクルーシブスポーツ→**800人**

【R7.6末実績（達成度）】
○イベントへの参加者数（－）
・アーバンスポーツイベント→**１月開催**
・eスポーツイベント→**１月開催**
・ジュニア競技大会・体験教室(ﾚｽﾘﾝｸﾞ)
→**約650人（S）**
・インクルーシブスポーツ→**11月開催**

【見えてきた課題】
○スポーツへの関心が低い若者への対策が必要

(3)スポーツを支える人材の育成・確保

【事業概要】
有資格のスポーツ指導者の養成やスポーツ指導者をマッチングする取組などにより、地域でスポーツを支援する人材を育成・ 確保する
（参考資料２ p.３参照）

【R7年度末の目標値】
○有資格指導者をＲ４から６%増
a:日本スポーツ協会公認指導者資格 →**1,503人**
b:日本パラスポーツ協会指導員資格 →**219人**

【R7.6末実績（達成度）】
○a:10月公表（－）
b:３月公表（－）

【見えてきた課題】
○地域に指導者がおらず継続的に実施する新たなスポーツ活動が創出されにくい
○子どもが活動できる時間帯の指導者を確保するためには、大学や地域の企業などの協力が必要

(4)障害者がスポーツに親しめる環境づくり

【事業概要】
障害者が身近な地域でスポーツに親しめる環境づくりや、障害者のスポーツ活動を支援する体制の整備、障害者のスポーツ大会の開催などにより、障害者のスポーツ参加の拡大を図る
（参考資料２ p.４参照）

【R7年度末の目標値】
①障害者がスポーツ活動をすることができる団体数 →**33団体**
②障害者スポーツセンターと連携し地域の活動支援を行う体制ができているエリアの数 →**４エリア**

【R7.6末実績（達成度）】
①31団体（S）
②３エリア（S）

【見えてきた課題】
○地域地域で障害者のスポーツ活動を支援する体制の強化が必要

３ 今後の取組強化に向けた方向性

(1)子どものスポーツ環境づくり
○国が行う部活動の地域展開施策と連動した取組の検討
○地域おこし協力隊の配置や地域クラブとの連携強化

(2)若者の関心が高い新たなスポーツの推進
○「みる」スポーツへの参加促進
・アニメ・漫画、音楽、ゲームなどの他のエンタメとの連携
・地元プロチームの応援企画など

(3)スポーツを支える人材の育成・確保
○新たな人材の発掘
・市町村や企業等と連携した、保護者や競技団体に登録していない地域の人材（競技経験者等）を対象とした指導者研修会の開催

(4)障害者がスポーツに親しめる環境づくり
○県立障害者スポーツセンターの機能強化
・各地域における活動の拠点づくり
・競技力向上に取り組む選手の発掘・育成

第３期高知県スポーツ推進計画 『柱２ 競技力の向上』の取組状況等について

資料１－３

１ 第３期高知県スポーツ推進計画（R5～R9）の取組状況（令和７年度6月末時点）

項目	R9 目標	設定当初(R4)	R５			R6			R７			R８			R9		
			目標	実績	達成度	目標	実績	達成度	目標	実績	達成度	目標	実績	達成度	目標	実績	達成度
全国入賞や国際大会に出場する選手・団体	200 ※	138	142	175	S	146	205	S	164 ※	31	－	182 ※			200 ※		
全国や世界を目指す障害者アスリート数	220人	192人	198	206	A	204人	208人	A	210人	－	－	215			220人		

※R9目標値をver.2改訂の際に、160から200に上方修正（途中の年度についても上方修正）

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	100%以上 110%未満
B	85%以上 100%未満
C	70%以上 85%未満
D	70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

R６の主な成果○課題●

○全国や世界で活躍する選手が増加している
○国民スポーツ大会の順位が着実に向上している（R4：46位→R6：38位）
●入賞等の結果を残す競技がまだ限定的であり、全体的な底上げを引き続き行うことが必要
●スポーツ医科学サポートの利用者数は増加しているが、効果的な活用の拡充が必要
●全国や世界を目指す障害者アスリートは増加しているが、さらなる増加や活動の充実を図るためには、支援する体制の強化が必要
●高知県アスリートキャリア支援センター（無料職業紹介所）をR6.12月に開設したが、本格的な運用に至っていない

【参考資料１参照】

R７取組の強化ポイント

○**競技の特性に応じた計画的・組織的な育成・強化**
RPDCA（進捗管理シート）による各競技の実状に応じた、育成・強化（全競技）及び全高知チームによる重点強化（15競技）に取り組む
○**スポーツ医科学サポートの強化**
スポーツ科学センターの運用体制の充実を図り、利用者の実情に応じたサポートに取り組む
○**アスリートのキャリア支援の強化**
有望な選手やスポーツ指導者の県内への受入れを増やすため、高知県アスリートキャリア支援センター（無料職業紹介所）に登録する企業の掘り起こしの強化

２ Ｒ７の主な取組

(1)競技力向上に向けた強化策

【事業概要】
競技団体が行う系統的かつ計画的な選手の育成・強化活動を支援するとともに、スポーツ医科学面からのサポートを行うことで、各競技団体の組織的な育成・強化体制の充実や障害者の強化活動の充実を図り、本県の競技力向上につなげる
（参考資料２ p.５参照）

【R7年度末の目標値】
①全国中学校体育大会の入賞競技数 →**7競技**
②全国高等学校総合体育大会の入賞競技数 →**13競技**
③全高知チームにおける実践研修の実施状況 →**15チーム**
④障害者スポーツの発掘事業で選抜する選手数 →**10人**

【R7.6末実績（達成度）】
①－（－）
②－（－）
③４チーム（A）
④年度末に集計（－）

【見えてきた課題】
○競技の特性に応じた計画的・組織的で効果的な育成・強化
○障害者スポーツにおける全国や世界を目指す選手の発掘・育成

(2)スポーツ医科学の活用

【事業概要】
スポーツ現場において行われる、健康増進や競技力向上に向けた技術練習・トレーニングが年齢、体力、競技特性等に応じて、合理的かつ効率的・効果的に行われるよう、スポーツ医科学の見地から様々なサポートを実施する
（参考資料２ p.６参照）

【R7年度末の目標値】
①スポーツ医科学を組織的に活用している競技団体数 →**26競技団体**
②スポーツ科学センターによる研修会の参加者数 →**200人以上**
③高知県スポーツ科学センターと連携する外部スタッフ数 →**30人**

【R7.6末実績（達成度）】
①13競技団体（B）
②40人（A）
③13人（A）

【見えてきた課題】
○年間計画を作成して計画的にSSCを活用する競技団体のさらなる増加
○より効果的な活用に向けての支援

(3)アスリートのキャリア支援

【事業概要】
高知県アスリーキャリア支援センター（無料職業紹介所）の運用を通じて、アスリートや指導者の県内企業への就職支援を実施する
（参考資料２ p.５参照）

【R7年度末の目標値】
①アスリートキャリア支援センターへの登録企業数 →**５企業**
②アスリートや指導者のマッチング数 →**２件**

【R7.6末実績（達成度）】
①０企業（D）
②０件（D）

＜参考＞
Ｒ７.７月に高知県アスリートキャリア支援センターに登録した企業の女子硬式野球部設立に向けた支援を実施

【見えてきた課題】
○アスリートキャリア支援センターへの登録企業の掘り起こしの強化が必要

３ 今後の取組強化に向けた方向性

(1)競技力向上に向けた強化策
○積極的に県外遠征を実施している競技団体が好成績を収めていることから、各競技団体における県外遠征を重視した組織的・計画的な強化活動の推進
○県立障害者スポーツセンターの機能強化(再掲)
・各地域における活動の拠点づくり
・競技力向上に取り組む選手の発掘・育成

(2)スポーツ医科学の活用
○活用できていない競技団体に競技力向上の効果を丁寧に説明し、医科学サポートの積極的な活用を促進
○現場に出向いて指導助言を行う出張サポートのさらなる拡充
○スポーツ科学センターのさらなる運用体制の強化

(3)アスリートのキャリア支援
○高知県アスリートキャリア支援センターの仕組みを県内企業や競技団体に広く周知
○関係団体との連携による登録企業の掘り起こし
○有望なアスリートや指導者と県内企業等とのマッチング支援

第３期高知県スポーツ推進計画 『柱３ スポーツを通じた活力ある県づくり』の取組状況等について

資料１－４

１ 第３期高知県スポーツ推進計画（R5～R9）の取組状況（令和７年度6月末時点）

項目	R9目標	設定当初（R4）	R5			R6			R7			R8			R9		
			目標	実績	達成度	目標	実績	達成度	目標	実績（R7.1～6）	達成度	目標	実績	達成度	目標	実績	達成度
スポーツによる県外からの入込客数	12万人	53,161人	63,000人	86,094人	S	7万人	101,309人	S	9万人	35,140人	C	10.5万人	－	－	12万人	－	－
						【R6.1～6】36,190人 ①対目標進捗率51.70%			【R7.1～6】35,140人 ②対目標進捗率39.04%		【R7.1～6】対前年達成率 ②/① =75.51%						

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率110%以上
A	100%以上110%未満
B	85%以上100%未満
C	70%以上85%未満
D	70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

R６の主な成果○課題●

○コロナ禍において大幅に減少していた県外からの入込客数は、回復傾向にあり、R6の目標を達成している
○高知ユナイテッドSCなど、地元プロチームの活躍により、県外からの入込客数増加に寄与
○高知龍馬マラソン2025の３種目出走者数は、10,692人と10,000人超を達成
●スポーツによる県外からの入込客数を増やすためには、新たなプロスポーツの大会等の誘致やインバウンド向けのスポーツツーリズムの強化が必要

【参考資料１参照】

R７取組の強化ポイント

○**新規プロ・アマチュアスポーツの誘致**
新県民体育館の整備を見据え、プロスポーツや全国大会の誘致など新たなスポーツの誘致を戦略的に進める
○**インバウンド向けスポーツツーリズムの強化**
高知龍馬マラソンの海外エントリーの強化や、広域なサイクリングの推進などによるスポーツを通したインバウンドの誘客拡大を進める
○**地元プロチームと連携したスポーツの推進**
J3に参入した高知ユナイテッドSCや高知ファイティングドッグスと連携し、ホーム戦の観客増や観光PR等に取り組み、地域経済の活性化を図る

２ Ｒ７のKPI（9万人）達成に向けての主な取組

(1)プロ・アマチュアスポーツの誘致

【事業概要】
プロ・アマチュアスポーツのキャンプや合宿、大会の誘致を推進し、地域経済の活性化やスポーツ参加の拡大、競技力の向上につなげる

【実績】
■プロ
【R7.1～3】
・国内外プロ野球チーム春季キャンプ（３チーム）
・国内プロサッカーチーム春季キャンプ（５チーム）
■アマチュア
【R7.4～6】
・全日本サーフィン選手権大会

【見えてきた課題】
○プロキャンプ観戦者へのおもてなし
○屋内競技におけるプロ・トップチームの誘致
○県内スポーツ施設の予約状況の把握

(2)地域の特色を活かしたスポーツツーリズムの推進

【事業概要】
地域の特色を活かしたスポーツツーリズムを推進し、地域経済の活性化やスポーツ参加の拡大、競技力の向上につなげる

【実績】
■高知龍馬マラソン
【R7.1～3】
・高知龍馬マラソン2025大会開催（フルマラソンエントリー:10,555人）
【R7.4～6】
・令和７年度第１回総会開催
・参加賞Tシャツデザイン募集開始
■サイクルツーリズム
【R7.1～3】
・サイクルオアシスの整備（２箇所）

【見えてきた課題】
○サイクルツーリズムコンテンツの不足（インバウンド対応等）
○県内サイクリストの定量的な把握
○サイクルオアシスの備品の老朽化
○マラソン大会の過剰供給やランナー人口減少による地域間競争の加速

(3)地元プロチームとの連携

【事業概要】
J3参入した高知ユナイテッドSCや高知ファイティングドックスと連携し、ホーム戦の観客増や観光PR等に取り組み、地域経済の活性化をはかる

【実績】
■高知ファインティングドックス
【R7.4～6】
・阪神タイガースとの交流試合開催（１回）
・県民会議DAY開催（1回）
■高知ユナイテッドSC
【R7.1～3】
・ホーム戦での観光PR（3回）
・アウェイ戦での観光PR（1回）
【R7.4～6】
・ホーム戦での観光PR（5回）
・アウェイ戦での観光PR（6回）
・クラウドファンディング型ふるさと納税（4/25～7/23）

【見えてきた課題】
○高知ユナイテッドSCや高知ファイティングドックスのホーム戦を訪れたアウェイサポーターの県内周遊

(4)スポーツを通じたインバウンドの誘致

【事業概要】
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウン等で関係を構築した国等との相互交流や、国内で実施される国際大会に出場する海外チームの事前合宿の受入により、地域経済の活性化やスポーツ参加の拡大、競技力の向上につなげる

【実績】
【R7.4～6】
・スロバキア陸上チームの受入れ（9/1～9/10、20名）

【見えてきた課題】
○各国のニーズ把握と受入体制

スポる！KOCHI

情報発信

県スポーツツーリズムポータルサイト「スポる！KOCHI」を通して、国内外へ積極的な情報発信

３ 今後の取組強化に向けた方向性

○新県民体育館の整備を見据え、県内各施設の利用調整の効率化と、県外や海外からの新たなプロスポーツの大会や合宿誘致の掘り起こしが必要

○県内プロスポーツの支援やプロスポーツ合宿の受入等の拡大に向けた環境整備が必要

○スポーツツーリズムに係るイベントやコンテンツ等の充実

第３期高知県スポーツ推進計画の目標達成状況（令和６年度末時点）

参考資料１

柱１ スポーツ参加の拡大

目標	R9目標	設定当初(R4)	R6目標	R6実績	達成度
運動が好きな子どもの割合	**R4から５ポイント増**	小男92.1% 小女85.9% 中男89.5% 中女79.1%	Ｒ４から2ポイント増	小男92.5% 小女84.7% 中男91.2% 中女77.5%	小男:D 小女:D 中男:B 中女:D
成人の週１回以上のスポーツ実施率	**65%**	51%	－	－	－
障害者が活動できるチームや団体数	**37団体**	27団体	31団体	30団体	B

施策目標	R9目標	設定当初(R4)	R6目標	R6実績	達成度
①子どものスポーツ環境づくりについて取り組んでいる市町村の数	34市町村	9市町村	19市町村	12市町村	D
②広域で連携した取組が展開できているエリア数	6エリア	－	2エリア	2エリア	A
③マッチングプログラムの参加者数	9,500人 (R5からの累計)	1,420人	1,718人	4,358人	S
④子どもの体力・運動習慣の向上 ※新体力テストの体力合計点の平均 （ ）内は全国平均	小中の男女とも全国平均を上回る	小男52.7 (52.2) 小女54.8 (54.3) 中男41.2 (41.0) 中女48.2 (47.4)	小中学生の男女とも全国平均を上回る	小男52.5 (52.5) 小女54.3 (53.9) 中男42.4 (41.8) 中女48.0 (47.3)	小男:A 小女:A 中男:A 中女:A
⑤各地域のスポーツ実施率	Ｒ３と比較して全ての地域でスポーツ実施率が向上する	(R3) 安芸:40.7% 香美香南:48.2% 高知市:51.8% 土長南国:54.3% 吾川:49.2% 高岡:53.8% 幡多:50.3%	全ての地域でスポーツ実施率が向上する	－	－
⑥女性の週１回以上のスポーツ実施率	65%	49.9%	－	－	－
⑦「スポーツNAVI」のページビュー数	11万pv	72,619pv	89,745 pv	62,989 pv	C
⑧「スポるKOCHI」のセッション数	毎年7.3万セッション以上	3.2万セッション	127,750セッション以上	232,355セッション	S

施策目標	R9目標	設定当初(R4)	R6目標	R6実績	達成度
⑨有資格指導者の数 JSPO:日本スポーツ協会公認 JPSA:日本パラスポーツ協会公認	JSPO: 1,560人 JPSA: 227人	JSPO: 1,419人 JPSA: 207人	R4から4%増	JSPO: 1,445人 JPSA: 209人	JSPO: B JPSA: B
⑩育成したボランティアリーダーの数	50人	－	20人	0人	D
⑪スポーツサミットを通して若者から提言された取組数	10	－	4	1	D
⑫障害者がスポーツ活動をすることができる団体数（障害者スポーツ）	37団体	27団体	31団体	30団体	B
⑬障害者スポーツセンターと連携し地域の活動支援を行う体制ができているエリア数（障害者スポーツ）	6エリア	1エリア	3エリア	3エリア	A
⑭発掘の取組により中央競技団体に登録した選手数（障害者スポーツ）	25人	-	10	0人	D
⑮中央競技団体への登録者数（障害者スポーツ）	220人	192人	204人	208人	A
⑯誘致した大会数（障害者スポーツ）	5 (R5からの累計)	1	3	1	D
⑰スポーツ科学センターによる研修会への参加者数	毎年200人以上	214人	200人以上	169人	C
⑱リモートによる活動への参加者数	10,840人	7,648人	8,924人	14,309人	S
⑲健康パスポートアプリDL件数 ※R6目標から男性のみに修正	5万件	41,799件	17,000件 (男性のみ)	21,585件 (男性のみ)	S
⑳多様な主体の意見交換や情報共有する場への参加団体数	10団体	-	4団体	5団体	S
㉑連携協定による活動数	28	24	26	42	S

柱２ 競技力の向上

目標	R9目標	設定当初(R4)	R6目標	R6実績	達成度
全国入賞や国際大会へ出場する選手・団体	**200**	138	146	205	S
全国や世界を目指す障害者アスリート数	**220人**	192人	204人	208人	A

施策目標	R9目標	設定当初(R4)	R6目標	R6実績	達成度
①全国中学校体育大会の入賞競技数	９競技	７競技	８競技	6競技	C
②全国高等学校総合体育大会の入賞競技数	15競技	10競技	12競技	９競技	C
③スポーツ医科学を組織的に活用している競技団体数	30団体	20団体	24団体	20団体	C
④高知くろしおキッズに応募する子どもの数	200人	145人	167人	87人	D
⑤障害者スポーツの発掘事業で選抜した選手数（再掲）	25人	－	10人	０人	D
⑥有資格指導者の数〔再掲〕 JSPO:日本スポーツ協会公認 JPSA:日本パラスポーツ協会公認	JSPO: 1,560人 JPSA: 227人	JSPO: 1,419人 JPSA: 207人	R4から4%増	JSPO: 1,445人 JPSA: 209人	JSPO: B JPSA: B
⑦全高知チームにおける実践研修の実施状況	全ての全高知チームで実践研修が行われている	-	全ての全高知チーム	15	A
⑧スポーツ科学センターによる研修会の参加者数〔再掲〕	毎年200人以上	214人	200人以上	169人	C
⑨リモートによる活動への参加者数〔再掲〕	10,840人	7,648人	8,924人	14,309人	S
⑩高知県スポーツ科学センターと連携する外部スタッフ数	35人	21人	26人	17人	D

柱３ スポーツを通じた活力ある県づくり

※速報値

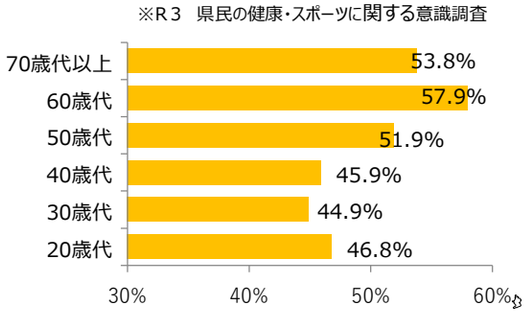
目標	R9目標	設定当初(R4)	R6目標	R6実績	達成度
スポーツによる県外からの入込客数	**12万人**	53,161人	70,000人	101,309人	S

施策目標	R9目標	設定当初(R4)	R6目標	R6実績	達成度
①プロ・トップチームの誘致による県外からの入込客数	8万人	32,662人	45,000人	66,169人	S
②アマチュアスポーツの誘致による県外からの入込客数	１万人	3,926人	7,000人	4,244人	D
③スポーツ大会等による県外からの入込客数	3万人	16,573人	18,000人	21,362人	S
④地元プロチームのホーム戦の県内外からの入込客数	・高知FD：1.2万人 ・高知USC：3万人	・高知FD：9,095人 ・高知USC：13,795人	・高知FD：10,000人 ・高知USC：30,000人	・高知FD：12,902人 ・高知USC：34,421人	・FD：S ・USC：S
⑤「スポるKOCHI」のセッション数（再掲）	毎年7.3万セッション以上	3.2万セッション	127,750セッション以上	232,355セッション	S

補足

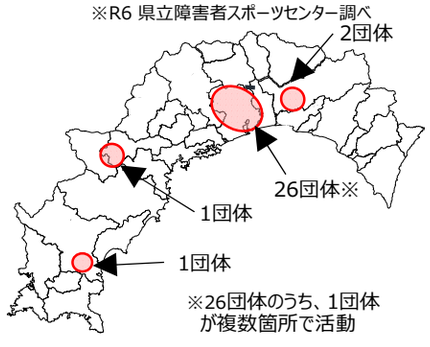
■成人の週１回以上のスポーツ実施率（年代別）

※Ｒ３ 県民の健康・スポーツに関する意識調査



■障害者スポーツ団体・チーム

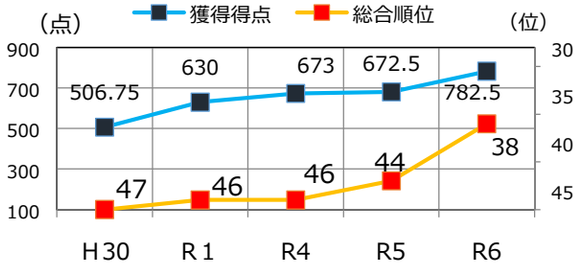
※R6 県立障害者スポーツセンター調べ



※26団体のうち、1団体が複数箇所で活動

■国民スポーツ大会の獲得得点および順位の推移

※Ｒ６ 県スポーツ課調べ



■スポーツ科学センターの利用者数の推移

※Ｒ６ 県スポーツ課調べ

サポート内容	R2	R3	R4	R5	R6
専門体力測定	466	498	1,422	1,179	1,623
コンディショニング	713	821	3,304	3,870	4,558
メンタルトレーニング	106	4	356	373	476
栄養指導	62	122	631	603	442
パフォーマンス分析	169	84	421	670	319

■アマチュアスポーツ合宿の受け入れ競技

※Ｒ６ 高知県アマチュアスポーツ合宿支援事業助成金実績

競技	回数
野球	36
サッカー	26
陸上	10
バスケットボール	16
バレーボール	5
カヌー	3

競技	回数
ソフトボール	2
テニス	0
水泳	2
バドミントン	0
卓球	0
フットサル	0

競技	回数
ゴルフ	0
自転車	1
ダンス	0
ハンドボール	1
よさこい	0

■高知龍馬マラソンのエントリー者推移

※R6 県スポーツツーリズム課調べ

2019大会（H30年度）	2020大会（Ｒ１年度）	2023大会（Ｒ４年度）	2024大会（R5年度）	2025大会（R6年度）
13,481	13,694	8,007	9,315	10,555

参考資料2

令和７年度　スポーツ施策の取組状況（重点施策）

○第３期高知県スポーツ推進計画の総括評価基準

評価区分	達成状況
S	数値目標の達成率　110%以上
A	〃　100%以上110%未満
B	〃　85%以上100%未満
C	〃　70%以上　85%未満
D	〃　70%未満
―	達成度の判断が困難なもの

令和7年6月末時点

重点事業の取組状況確認資料（令和7年度6月末時点）　【施策の柱①　スポーツ参加の拡大】

事業名	事業概要	令和９年度末の到達目標	令和７年度末の目標値	実績（R７.６月末時点）	６月末時点の達成度
子どものスポーツ環境整備事業	市町村が行う子どものスポーツ環境づくりへの支援を行うとともに、複数の市町村が広域で連携する取組について、民間団体の協力や県版地域おこし協力隊の配置などにより、効果的に進める	①子どものスポーツ環境づくりについて関係者が連携して対応する体制をつくり取り組んでいる市町村数　→**34市町村** ②広域で連携した取組が展開できているエリア数　→**６エリア** ③子どもの体力・運動習慣の向上 →**小中学生の男女とも全国平均を上回る**	**①24市町村** **②４エリア** **③小中学生の男女とも全国平均を上回る**	**①７市町村** **②２エリア** **③12月調査結果公表**	**①(S)** **②(S)** **③－**

【P(Plan)】	【D(Do)】	【C(Check)】	【A(Action)】	次年度に向けた見直しの方向性
当初計画	**これまでの取り組み状況**	**見えてきた課題**	**見えてきた課題に対する改善策**	
(1)市町村の取組の充実 ・子どものスポーツ環境整備事業費補助金による財政支援（４月～） ・地域で活動できるスポーツ指導者の共有（９月～） ・地域おこし協力隊（ダンス指導者）の派遣 **(2)広域で連携する取組の推進** ・広域スポーツハブ促進委員会（６エリア）の開催 第１回：６月 第２回：８月・９月 第３回：２月 ・広域連携事業の実施 幡多エリア：幡多地域各地で開催する様々なスポーツ体験を通じて、自分に合ったスポーツを見つける取り組み（全14回） 嶺北エリア：体力測定会と地域で活動のあるスポーツの体験を行うイベントを通じて、スポーツを始めるきっかけづくりを行う取組（２回） **(3)民間活力による効果的な活動の展開** ①高知県スポーツコミッションと連携した指導者養成 ・指導者向け研修会等の開催　（６回） ②PERF(株)と連携したダンスを活用した取組 ・ダンスの楽しさを伝える人材の養成（９月～） ・ダンスイベントの開催（１月） ③デロイトトーマツと連携したアーバンスポーツの推進 ・アーバンスポーツイベントの開催（１月） **(4)県版地域おこし協力隊配置による活動推進** ・市町村訪問等によるヒアリング ・地域のスポーツ活動への参加及び情報発信 ・地域におけるスポーツ指導	**(1)市町村の取組の充実** ・子どものスポーツ環境整備推進事業費補助金による財政支援(交付決定：７市町村) **(2)広域で連携する取組の推進** ・広域スポーツハブ促進委員会の開催（６エリア） 第１回：幡多5/28、安芸6/2、物部川6/4、嶺北6/5、仁淀川6/6、高幡６/11 ・広域連携事業 幡多エリア： 6/14：測定会 6/21：土佐清水市（卓球） 6/29：宿毛市（レスリング） **(3)民間活力による効果的な活動の展開** ①高知県スポーツコミッションと連携した指導者養成 ・高知県スポーツコミッションとの定例会　（毎月） ②PERF(株)と連携したダンスを活用した取組 ・PERF(株)との打ち合わせ（東京：5/23） ③デロイトトーマツと連携したアーバンスポーツの推進 **(4)県版地域おこし協力隊配置による活動推進** ・地域おこし協力隊の募集（４月～）	**(1)市町村の取組の充実** ・新たなスポーツ関連予算の確保が難しい市町村の取組の充実 **(2)広域で連携する取組の推進** ・広域的な取組を充実させるためには、地域で広域的な活動を推進する人材の確保が必要 ・広域連携事業に参加する子どもが少ないため、取組のさらなる周知が必要 **(3)民間活力による効果的な活動の展開** ・事業に関わる関係者や企業を増やし、取組の充実を図ることが必要 **(4)県版地域おこし協力隊配置による活動推進** ・問い合わせや応募が少ないので、募集周知の強化が必要	**(1)市町村の取組の充実** ・健康や教育など他分野施策と関連した支援策の検討 **(2)広域で連携する取組の推進** ・地域おこし協力隊の活用 ・地域の関係者やマスコミ等への情報発信の強化 **(3)民間活力による効果的な活動の展開** ・大学生の活用 ・県と包括協定を締結している企業への協力依頼 **(4)県版地域おこし協力隊配置による活動推進** ・移住フェア等での募集周知	**○子どものスポーツ環境づくり** **・国が行う部活動の地域展開施策と連動した取組の検討** **・地域おこし協力隊の配置や地域クラブとの連携強化** **○若者の関心が高い新たなスポーツの推進** **・「みる」スポーツへの参加促進** ・アニメ・漫画、音楽、ゲームなどの他のエンタメとの連携 ・地元プロチームの応援企画など

重点事業の取組状況確認資料（令和7年度6月末時点）　【施策の柱①　スポーツ参加の拡大】

事業名	事業概要	令和９年度末の到達目標	令和７年度末の目標値	実績（R７.６月末時点）	６月末時点の達成度
高知県パスウェイシステム事業（マッチングプログラム）	スポーツの楽しさを知り、スポーツに親しむ子どもを増やすため、親子で楽しむ運動プログラムや自分の運動特性を知ることができる多様な種目の体験会などを県内各地で提供する	マッチングプログラムの参加者数 **→毎年、前年比10%増のＲ５からの累計9,500人** **（R4時点：1,420人）**	**2,290人（R7年度）** **5,170人（累計）**	**314人（R7.6月末時点）** **4,672（累計）**	**（S）**

【P(Plan)】	【D(Do)】	【C(Check)】	【A(Action)】	次年度に向けた見直しの方向性
当初計画	**これまでの取り組み状況**	**見えてきた課題**	**見えてきた課題に対する改善策**	
(1)マッチングプログラム **Ⅰ-１：「あそビバ！」** 【目的】 親子で参加する遊びを通した運動プログラム及び保護者に対して運動に関する知識や情報を提供する 【対象】幼児(４歳)から小学３年生 【回数】３回(東部・中部・西部) 【定員】東部・西部50組100名程度、中部70組140名程度 **Ⅰ-２：「遊びの広場」** 【目的】 気軽に参加でき、楽しく体を動かすことができる運動プログラム 【対象】幼児(４歳)から小学６年生 【回数】６回(東部・中部・西部・その他県内各地３回) 【定員】なし **Ⅱ：「キッズスポーツ体験会」** 【目的】 自分に合う競技を見つけることができるきっかけづくりを目的とした多様な競技体験会の機会を提供する 【対象】 小学３年生から小学６年生 【回数】県内各地４回以上 【定員】累計240名程度 **(2)高知くろしおキッズ** ※高知県パスウェイシステム事業（高知くろしおキッズ）のページに記載	**(1)マッチングプログラム** Ⅰ-１：「あそビバ！」　３/３回　(314人) Ⅰ-２：「遊びの広場」　０/６回　(ー人) Ⅱ：「キッズスポーツ体験会」　０/４回　(ー人) ※参加者累計（314人） ◆Ⅰ-１：「あそビバ！」 ①６月14日(土)：土佐西南大規模公園体育館 (76人) ②６月21日(土)：県立青少年体育館（140人) ③６月22日(日)：安芸市多目的体育館安芸ドーム (98人) ◆Ⅰ-２：「遊びの広場」 ①11月　8日(土)：土佐西南大規模公園体育館(予定) ②11月15日(土)：高知市ﾄｰﾀ総合運動場多目的ドーム(予定) ③11月30日(日)：安芸市多目的体育館安芸ドーム(予定) ④未定 ⑤未定 ⑥未定 ◆Ⅱ：「キッズスポーツ体験会」 ①未定 ②未定 ③未定 ④未定 **(2)高知くろしおキッズ** ※高知県パスウェイシステム事業（高知くろしおキッズ）のページに記載	**(1)マッチングプログラム** ・各プログラムにおいてより多くの参加が得られるよう、周知の強化及び内容の充実が必要 ・障害のある子ども達の参加につなげることが必要	**(1)マッチングプログラム** ・SNS、HPでの周知の強化を図る ・特別支援学校への周知を行う	○各プログラムごとの実施計画を早期にまとめ、開催案内を効果的に行う

重点事業の取組状況確認資料（令和7年度6月末時点）　【施策の柱①　スポーツ参加の拡大】

事業名	事業概要	令和９年度末の到達目標	令和７年度末の目標値	実績（R７.６月末時点）	６月末時点の達成度
スポーツ指導者の育成及びマッチング **※障害者スポーツに関する取組は「障害者がスポーツに親しめる環境づくり」に記載**	有資格のスポーツ指導者の養成やスポーツ指導者をマッチングする取組などにより、地域でスポーツを支援する人材を育成・ 確保する	①高知県スポーツ科学センターによる研修会の参加者数 **→200人以上／毎年** ②有資格指導者の数：Ｒ４から10%増 a:日本スポーツ協会公認指導者資格 **：1,419人（Ｒ４）→1,560人** b:日本パラスポーツ協会指導員資格 **：207人（Ｒ４）→227人** ③全高知チームにおける実践研修の実施 **→全ての全高知チームで実践研修が行われている**	**①200人以上／年** **②a:1,503人** **②b:219人** **③15競技団体**	**①40人** **②a:10月公表** **②b:３月公表** **③４競技団体**	**①(A)** **②a:(－)** **②b:(－)** **③(A)**

【P(Plan)】	【D(Do)】	【C(Check)】	【A(Action)】	次年度に向けた見直しの方向性
当初計画	**これまでの取り組み状況**	**見えてきた課題**	**見えてきた課題に対する改善策**	
(1)スポーツ指導者育成及びマッチング ①指導者の掘り起こし ・市町村と連携した指導者の発掘 促進委員会での事業提案（５月・６月） 競技経験者向けの実技研修（２エリア：９月～） ・高知県スポーツコミッションと連携した指導者養成【再掲】 指導者向け研修会等の開催　（６回） ・PERF(株)と連携したダンスを活用した取組【再掲】 ダンスの楽しさを伝える人材の養成（９月～） ②指導者の育成 ・全高知チームのトップコーチから学ぶ実践研修（随時） ・日本スポーツ協会公認指導者養成講習会（8月～） ・高知県スポーツ指導者講習会（6月～） ・パラスポーツ指導員養成講習会（初級）の開催（９月） ・パラスポーツ指導員養成講習会（中級・上級）への派遣 ・大阪体育大学グッドコーチ養成セミナーへの派遣（10月） ③指導者のマッチング ・スポーツ団体や市町村等の依頼に応じて指導者を紹介 （随時） **(2)スポーツ推進委員の活動の活性化** ・研修会の開催 （初任者研修会（７月）、県研修会（12月）） ・各地区が行う研修会等への支援（随時）	**(1)スポーツ指導者育成及びマッチング** ①指導者の掘り起こし ・市町村と連携した指導者の発掘 促進委員会での事業提案（５月・６月） ・高知県スポーツコミッションと連携した指導者養成 高知県スポーツコミッションとの定例会　（毎月） ・PERF(株)と連携したダンスを活用した取組 PERF(株)との打ち合わせ（東京：5/23） ②指導者の育成 ・全高知チームのトップコーチから学ぶ実践研修 （随時）　※4競技が実施（6月末） ・日本スポーツ協会公認指導者養成講習会 (8月～12月)(予定) (9/6～9/7)　※30名申し込み (11/7～11/9) (予定) (11/22～11/24)(予定) (1/10～1/17)(予定) ・高知県スポーツ指導者講習会 (6/1)※受講者：103名 (10/26)(予定) (1/25)(予定) **(2)スポーツ推進委員の活動の活性化** ・高知県スポーツ推進委員連絡協議会総会（5/21）	**(1)スポーツ指導者の育成及びマッチング** ①指導者の掘り起こし ・地域に指導者がおらず継続的に実施する新たなスポーツ活動が創出されにくい ・子どもが活動できる時間帯の指導者を確保するためには、大学や地域の企業などの協力が必要 ②指導者の育成 ・各種研修により多くの参加が得られるようにすることが必要 **(2)スポーツ推進委員の活動の活性化** ・新たなスポーツ推進委員の確保や活動の充実を図るためには、スポーツ推進委員の活動を知ってもらう必要がある。	**(1)スポーツ指導者の育成及びマッチング** ①指導者の掘り起こし ・指導経験の無い競技経験者などが参加できる研修などの充実 ・複数の市町村で連携し、指導者を発掘する仕組みの検討 ②指導者の育成 ・事前周知を徹底する **(2)スポーツ推進委員の活動の活性化** ・県ホームページなどでの活動紹介	**○新たな人材の発掘** ・市町村や企業等と連携した、保護者や競技団体に登録していない地域の人材（競技経験者等）を対象とした指導者研修会の開催

重点事業の取組状況確認資料（令和7年度6月末時点）　【施策の柱①　スポーツ参加の拡大】

事業名	事業概要	令和９年度末の到達目標	令和７年度末の目標値	実績（R７.６月末時点）	６月末時点の達成度
障害者スポーツ推進事業	障害者が身近な地域でスポーツに親しめる環境づくりや、障害者のスポーツ活動を支援する体制の整備、障害者のスポーツ大会の開催などにより、障害者のスポーツ参加の拡大を図る	①障害者がスポーツ活動をすることができる団体数　→**37団体** ②障害者スポーツセンターと連携し地域の活動支援を行う体制ができているエリアの数　→**６エリア** ③発掘の取組により中央競技団体に登録した選手数　→**25人** ④中央競技団体への登録者数　→**220人** ⑤誘致した大会数（R5からの累積数）　→**5** ⑥公認パラスポーツ指導員有資格者数　→**227人**	**①33団体** **②４エリア** **③15人** **④210人** **⑤４** **⑥219人**	**①31団体** **②３エリア** **③０** **④年度末に集計** **⑤４** **⑥年度末に集計**	**①(S)** **②(S)** **③(D)** **④(ー)** **⑤(A)** **⑥(ー)**

【P(Plan)】 当初計画	【D(Do)】 これまでの取り組み状況	【C(Check)】 見えてきた課題	【A(Action)】 見えてきた課題に対する改善策	次年度に向けた見直しの方向性
(1)障害者スポーツの活動支援 ＜県立障害者スポーツセンターを核とした取組＞ ①地域のスポーツ活動と障害当事者のマッチング ・総合型地域SC スクラム(土佐清水市)との連携(７月) ・四万十市スポーツ協会との連携(７月) ②パラスポーツ指導員の養成 ・パラスポーツ指導員養成講習会（初級）の開催（９月） ・パラスポーツ指導員養成講習会（中級・上級）への派遣 ③全国障害者スポーツ大会 ・中四国ブロック大会への支援（4月～6月） ・全国障害者スポーツ大会への派遣（10月/滋賀県） ④高知県障害者スポーツ大会 ・大会の開催（5月、6月、10月） **(2)身近な場所におけるスポーツ機会の拡充** ①障害者の活動の受け皿づくり ・総合型地域SC スクラム(土佐清水市)との連携(７月)【再掲】 ・四万十市スポーツ協会との連携(７月)【再掲】 ②インクルーシブなスポーツ活動の推進 ・地域での普及 大阪体育大学や県内大学と連携した津野町での普及(９月) ・パラリンピアン等が参加するスポーツイベントの開催（11月） ・インクルーシブなダンスイベントの開催（１月） ③市町村が行う障害児のスポーツ活動の充実 ・子どものスポーツ環境整備事業費補助金による財政支援 ④障害者スポーツ大会や合宿の誘致 ・競技団体等と連携した大会・合宿の誘致活動 **(3)全国や世界を目指す選手の発掘・育成** ①有望選手の発掘・育成 ・特別支援学校と連携した測定会の開催（10月） ②全国や世界を目指す強化活動支援 ・特別強化選手や強化助成選手の活動への支援	**(1)障害者スポーツの活動支援** ＜県立障害者スポーツセンターを核とした取組＞ ③全国障害者スポーツ大会 ・中四国ブロック大会への支援(４団体) ・全国障害者スポーツ大会への派遣選手選考会（６/10） ④高知県障害者スポーツ大会 ・大会の開催（申込者数600人） **(2)身近な場所におけるスポーツ機会の拡充** ②インクルーシブなスポーツ活動の推進 ・地域での普及 大阪体育大学や津野町との協議(５月) ・パラリンピアン等が参加するスポーツイベントの開催 パラリンピアンとの調整（5月） オリンピアンとの調整（６月） ・インクルーシブなダンスイベントの開催 先進事例がある関係者との意見交換（５月） ③市町村が行う障害児のスポーツ活動の充実 ・子どものスポーツ環境整備事業費補助金による財政支援（１件） ④障害者スポーツ大会や合宿の誘致 ・競技団体等と連携した大会・合宿の誘致活動 車いすラグビー選手権大会（高知市：7/5、6） **(3)全国や世界を目指す選手の発掘・育成** ①有望選手の発掘・育成 ・関係者との連携協議（6/16）	**(1)障害者スポーツの活動支援** ＜県立障害者スポーツセンターを核とした取組＞ ③全国障害者スポーツ大会 ・団体種目はここ数年ブロック予選が突破できていない ④高知県障害者スポーツ大会 ・高知県障害者スポーツ大会の参加者が減少傾向にある。 **(2)身近な場所におけるスポーツ機会の拡充** ②インクルーシブなスポーツ活動の推進 ・地域での普及 地域地域で障害者のスポーツ活動を支援する体制の強化が必要 **(3)全国や世界を目指す選手の発掘・育成** ①有望選手の発掘・育成 ・発掘後に継続して選手の活動をサポートする体制づくりが必要	**(1)障害者スポーツの活動支援** ＜県立障害者スポーツセンターを核とした取組＞ ③全国障害者スポーツ大会 ・団体種目チームの活動の充実に向け新たな選手確保への支援を検討する ④高知県障害者スポーツ大会 ・小学生の陸上測定会を新たに同時開催するなど、インクルーシブなスポーツ大会の開催を検討する **(2)身近な場所におけるスポーツ機会の拡充** ②インクルーシブなスポーツ活動の推進 ・地域での普及 市町村社協や地域のパラスポーツ指導員との連携を充実させる **(3)全国や世界を目指す選手の発掘・育成** ①有望選手の発掘・育成 ・先進県のヒアリングによる仕組みを検討する	**○ 県立障害者スポーツセンターの機能強化** ・各地域における活動の拠点づくり ・競技力向上に取り組む選手の発掘・育成

重点事業の取組状況確認資料（令和7年度6月末時点）　【施策の柱②　競技力の向上】

事業名	事業概要	令和９年度末の到達目標	令和７年度末の目標値	実績（R７.６月末時点）	６月末時点の達成度
競技力向上に向けた強化事業	競技団体が行う系統的かつ計画的な選手の育成・強化活動を支援するとともに、スポーツ医科学面からのサポートを行うことで、各競技団体の組織的な育成・強化体制の充実や障害者の強化活動の充実を図り、本県の競技力向上につなげる	①全国中学校体育大会の入賞競技数　→**9競技** ②全国高等学校総合体育大会の入賞競技数　→**15競技** ③スポーツ医科学を組織的に活用している競技団体数 →**30競技団体** ④障害者スポーツの発掘事業で選抜する選手数　→**25人**	**①7競技** **②13競技** **③26競技団体** **④10人**	**①ー** **②ー** **③10競技団体** **④年度末に集計**	**①ー** **②ー** **③(B)** **④ー**

【P(Plan)】	【D(Do)】	【C(Check)】	【A(Action)】	次年度に向けた見直しの方向性
当初計画	**これまでの取り組み状況**	**見えてきた課題**	**見えてきた課題に対する改善策**	
(1)競技の特性に応じた計画的・組織的な育成・強化 ・**R**PDCA（進捗管理シート）による各競技の実状に応じた、育成・強化（全競技） ・全高知チームによる重点強化（15競技） 水泳、陸上、サッカー、柔道、剣道、ラグビー、レスリング、ソフトボール、卓球、ライフル射撃、バドミントン、カヌー、バスケットボール、ソフトテニス、バレーボール ・特別強化選手を認定した重点強化 ・国民スポーツ大会四国ブロック大会への派遣 ・国民スポーツ大会への派遣 **(2)競技団体等における適切な組織運営の促進** ・競技団体やスポーツ少年団における組織運営への支援（通年） コンプライアンスの遵守 ガバナンスコードに基づく運営 ※ガバナンスコード：スポーツ団体が適切な組織運営を行う上での原則・規範を示すもの **(3)スポーツ医科学の活用** ※スポーツ医科学の活用のページに記載 **(4)障害者スポーツにおける全国や世界を目指す選手の育成・支援** ①有望選手の発掘・育成 ・日本パラ陸上競技連盟との連携による、パラアスリート発掘・育成に係る大会・記録会の開催 ②全国や世界を目指す強化活動支援 ・特別強化選手や強化助成選手の活動への支援 **(5)アスリートや指導者のキャリア支援** ・高知県アスリート等無料職業相談所の運用 ・アスリート等就職支援バンクへの登録 ・キャリア支援専用WEBサイトの運用 **(6)デフリンピックの機運醸成** ・高知県関係者の情報発信 （広報物の作成・掲示・配布(チラシ・ポスター・横断幕)） ・キャラバンカー巡回の支援 ・壮行会やパブリックビューイングの協力・実施	**(1)競技の特性に応じた計画的・組織的な育成・強化** ・RPDCAシート初期分提出（４月・全40競技団体） ・全高知チームによる強化練習（４月～） ・国民スポーツ大会正式競技における基本的な強化（４月～） ・特別強化選手の認定：10名 ・国民スポーツ大会四国ブロック大会への派遣（６～８月） ・国民スポーツ大会への派遣（滋賀県）（9～10月） ＊総合成績:ー位（R6:38位） ＊獲得得点:ー点（R6:782.5:点） **(2)競技団体等における適切な組織運営の促進** ・スポーツ団体に対してガバナンスコードについて説明(4月～5月) **(3)スポーツ医科学の活用** ※スポーツ医科学の活用のページに記載 **(4)障害者スポーツにおける全国や世界を目指す選手の育成・支援** ○特別強化指定選手の選定 （S指定：5名、A指定：3名） ○県内で活動する団体・個人に対する強化費の助成 （４月～）(団体：5団体、個人：15人) **(5)アスリートや指導者のキャリア支援** ・キャリア支援専用WEBサイトのオープン ・高知県アスリートキャリア支援センター（無料職業紹介所）の運営 ・アスリートや指導者、企業に対する支援センターへの登録依頼の実施(5月～) **(6)デフリンピックの機運醸成** ＜代表内定者（5/15発表）＞ 〇中西椋：三段跳、走幅跳 ○岡田泰尚：4×400ｍＲ、4×400ｍＲ混合	**(1)競技の特性に応じた計画的・組織的な育成・強化** ・競技力の全体的な底上げに向けて、競技の特性に応じた効果的な強化活動を行うことが必要 **(4)障害者スポーツにおける全国や世界を目指す選手の発掘・育成** ・発掘後に継続して選手をサポートする環境づくりが必要 **(5)アスリートや指導者のキャリア支援** ・アスリートキャリア支援センターへの登録企業の掘り起こしの強化が必要	(1)県外遠征やスポーツ医科学サポートの活用を重視する等、競技の特性に応じた効果的な育成・強化活動を行う	(1)積極的に県外遠征を実施している競技団体が好成績を収めていることから、各競技団体における県外遠征を重視した組織的・計画的な強化活動の推進 (4)障害者の競技スポーツ活動を支援する体制の強化 (5)高知県アスリートキャリア支援センターの仕組みを県内企業や競技団体に広く周知 ・関係団体との連携による登録企業の掘り起こし ・有望なアスリートや指導者と県内企業等とのマッチング支援

重点事業の取組状況確認資料（令和7年度6月末時点）　【施策の柱②　競技力の向上】

事業名	事業概要	令和９年度末の到達目標	令和７年度末の目標値	実績（R７.６月末時点）	６月末時点の達成度
スポーツ医科学の活用	スポーツ現場において行われる、健康増進や競技力向上に向けた技術練習・トレーニングが年齢、体力、競技特性等に応じて、合理的かつ効率的・効果的に行われるよう、スポーツ医科学の見地から様々なサポートを実施する	①スポーツ医科学を組織的に活用している競技団体数 →**30競技団体** ②高知県スポーツ科学センターによる研修会の参加者数 →**200人以上／毎年** ③高知県スポーツ科学センターと連携する外部スタッフ数 →**35人**	**①26競技団体** **②200人以上／年** **③30人**	**①13競技団体** **②40人** **③13人**	**①(B)** **②(A)** **③(A)**

【P(Plan)】	【D(Do)】	【C(Check)】	【A(Action)】	次年度に向けた見直しの方向性
当初計画	**これまでの取り組み状況**	**見えてきた課題**	**見えてきた課題に対する改善策**	
(1)パフォーマンス向上支援事業 ①SSC活用強化策年間計画の作成及び進捗管理 ②SSC活用強化策利用競技団体等へのヒアリングの実施 ③体力測定の実施 ④各種サポートの実施 （コンディショニング、栄養、メンタル、映像） **(2)研修・支援事業** ①競技団体指導者・医科学コーディネーター等研修（１回） ②地域の指導者やスポーツ拠点のスタッフへの研修（４回） ③SSCサポートスタッフ研修(10回) **(3)研究・情報活用事業** ①ホームページによるスポーツ医科学情報(動画を含む)の発信 ②ハイパフォーマンススポーツセンター(HPSC)ネットワーク連携機関(体力測定)によるHPSCとの連携 ※HPSC 国立スポーツ科学センターとナショナルトレーニングセンターが持つスポーツ医・科学、情報等による研究、支援及び高度な科学的トレーニング環境を提供する組織 **(4)高知県スポーツ科学センター推進協議会** ①事業改善の提案及び助言、管理運営の状況を適切に評価 ②年間２回の実施(７月、３月)	**(1)パフォーマンス向上支援事業** ①R7強化策活用競技団体：23競技団体(28競技種別) ・年間計画作成完了(3/26) ②SSC活用強化策利用競技団体等へのヒアリングの実施（４月～） ③体力測定の実施(体力測定合計472人) 【月別利用人数】 ４月(129人) ５月(211人) ６月(132人) 【測定別利用人数】 一般体力測定(11人)　専門体力測定(461人) ④各種サポートの実施(サポート合計1,348人、265回) 【月別利用人数】 ４月(478人) ５月(488人) ６月(382人) 【サポート種別利用人数】 ｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ 1,051人(233回)　栄養 149人(11回) ﾒﾝﾀﾙ 118人(18回)　映像 30人(3回) **(2)研修・支援事業** ③SSCサポートスタッフ研修（計：40人） 5月(27人) 6月(13人) **(3)研究・情報活用事業** ①Instagramを活用して広報活動を実施（４月～） ②SSC利用者に対してQRコードを活用したアンケートの実施（４月～） ③SSCの測定を活用した高知県スポーツドクター協議会所属医師との研究連携 **(4)高知県スポーツ科学センター推進協議会** 7/15実施（予定）	**(1)パフォーマンス向上支援事業** ・SSCを組織的に活用する競技団体が増え、全国大会や国際大会で入賞する選手は着実に増加しているが、年間計画を作成して計画的にSSCを活用する競技団体をさらに増やすことが必要 ・活用する競技団体において、利用の頻度やサポート内容の増加が図られ、より効果的な活用ができるよう支援することが必要 **(2)研修・支援事業** ・各種研修に、より多くの参加が得られるようにすることが必要	**(1)パフォーマンス向上支援事業** ・競技力向上の効果を丁寧に説明し、積極的な活用を促す ・現場に出向いての指導助言を行う出張サポートなど、利用しやすい運用を行う **(2)研修・支援事業** ・各研修の実施計画を早期にまとめ、開催案内を効果的に行う	(1)活用できていない競技団体に競技力向上の効果を丁寧に説明し、医科学サポートの積極的な活用の促進 ・現場に出向いて指導助言を行う出張サポートのさらなる拡充 ・スポーツ科学センターのさらなる運用体制の強化

重点事業の進捗状況確認資料（令和7年度6月末時点）　【施策の柱②　競技力の向上】

事業名	事業概要	令和９年度末の到達目標	令和７年度末の目標値	実績（R７.６月末時点）	６月末時点の達成度
高知県パスウェイシステム事業（高知くろしおキッズ）	県内の運動能力に優れた小学生を発掘し、さらに運動能力を高めるトレーニングや競技プログラムを実施するなど、将来有望な選手を発掘・育成し、県内の競技団体につなげる	高知くろしおキッズに応募する子どもの数 →**200人**	**167人**	**ー人**	**(ー)**

【P(Plan)】	【D(Do)】	【C(Check)】	【A(Action)】	次年度に向けた見直しの方向性
当初計画	**これまでの取り組み状況**	**見えてきた課題**	**見えてきた課題に対する改善策**	
(1)マッチングプログラム ※高知県パスウェイシステム事業（マッチングプログラム）のページに記載 **(2)高知くろしおキッズ** R7在籍者数：４年生28名　５年生28名　６年生25名　計81名 ◆育成プログラム ①トレーニングプログラム(４回) ②競技プログラム(15回程度) ③知的プログラム(2回以上) ④合宿プログラム(全学年１回)(６年生のみ１回) ⑤スペシャルプログラム(１回) ◆特別プログラム ①四国交流プログラム(５年生のみ) ※R7は愛媛県で実施予定 ◆ちゃれんじ選考会 ①ちゃれんじ１(３回) ②ちゃれんじ２(２回) ◆その他のプログラム ①認定式(4/27) ②修了式(3/8) ③保護者プログラム ④体力測定（7/26、27　8/2、3） ◆その他の取り組み ①広報活動 ・活動内容やイベントの情報発信(SNSの活用) ②育成プログラムの充実を図る取組 ・宿題トレーニング・実施プログラムの動画配信、資料提供 ・プログラム検討会の実施 ・現キッズ、修了生、保護者へのアンケートの実施	**(1)マッチングプログラム** ※高知県パスウェイシステム事業（マッチングプログラム）のページに記載 **(2)高知くろしおキッズ** ◆育成プログラム ①トレーニングプログラム(2/4回) ・ダンストレーニング(4/27)　・トレーニング(6/29) ②競技プログラム ・４年生(3回)(ラグビー、飛込、スポーツクライミング) ・５年生(3回)(ラグビー、ライフル射撃、スポーツクライミング) ・６年生(3回)(ライフル射撃②、ハンドボール) ③知的プログラム(1/2回) ・コンディション・知的プログラム(6/28) ④合宿プログラム ・夏期合宿全学年：幡多青少年の家他(9/13～15予定) ・大阪体育大学合宿６年生(９/13～15予定) ⑤スペシャルプログラム ◆特別プログラム ①四国交流プログラム5年生：愛媛県開催(予定) ◆その他のプログラム ①認定式(4/27)、修了式(3/8予定) ②保護者プログラム ③体力測定(SSC)(7/28、7/29、8/3、8/4予定) ④選考会（１次：12/7、14、21予定) （２次：1/17、25予定) ◆その他の取り組み ①広報活動 ・活動内容やイベントの情報発信(SNSの活用)(週１回程度実施) ②育成プログラムの質の向上(各プログラム後実施) ・宿題トレーニング・実施プログラムの動画配信、資料提供(随時)	**＜昨年度の課題＞** **(2)高知くろしおキッズ** ・全てのキッズの能力の向上に向けて、効果的な運営やプログラム内容の充実を図ることが必要 ・年間を通してキッズのモチベーションを高める工夫が必要 ・学年が上がるにつれ自所属チームの主力となり、大会とプログラムの日程が重なり、欠席する場合がある ・次年度の応募者の増加に向けて、一次選考会の応募方法を書類選考（各学校で実施する体力テストの結果を提出）としたが、結果的に応募者が大幅に減少した	**(2)高知くろしおキッズ** ・講師とプログラム内容や進行などに関する事前確認を徹底するとともに、プログラム検討会において内容の検証・検討を行う ・毎回のプログラムの振り返りや活動の様子を複数のスタッフで確認しながら、キッズの意識の変化を捉えて、アプローチの仕方や方法を工夫する ・大会等でプログラムを欠席した場合は、個々に出場した大会の振り返りを動画で提出する等、きめの細かい宿題プログラムを実施する ・一次選考の応募者が減少した理由を分析し、選考方法を再検討する	○キッズの意識を高めるプログラム内容や体験プログラムの種目を見直して実施

重点事業の取組状況確認資料（令和7年度6月末時点）　【施策の柱③　スポーツを通じた活力ある県づくり】

事業名	事業概要	令和９年度末の到達目標	令和７年度末の目標値	実績 （R７.６月末時点）	６月末時点の達成度
プロスポーツ・アマチュアスポーツの誘致	プロ・アマチュアスポーツのキャンプや合宿、大会の誘致を推進し、地域経済の活性化やスポーツ参加の拡大、競技力の向上につなげる	**1　スポーツによる県外からの入込客数：12万人** **【内訳】** **① プロのキャンプ・大会　：８万人** **② アマチュアスポーツ合宿　：１万人** **③ スポーツ大会　：３万人** **2　地元プロチーム等のホーム戦の県内外からの入込客数** **高知FD：1.2万人** **高知USC:5万7千人**（３千人×19試合）	**1：9万人** **【内訳】** **1-①：6.0万人** **1-②：0.8万人** **1-③：2.2万人** **2：高知FD　：１万人** **高知USC：5万7千人** **（３千人×19試合）**	**1：35,140人** **【内訳】** **1-①：19,868人** **1-②：2,031人** **1-③：13,241人** **2：高知FD　：1,845人** **高知USC：1,339人**	**1：(C)** **【内訳】** **1-①：(D)** **1-②：(D)** **1-③：(S)** **2：** **FD　：(D)** **USC：(D)**

【P(Plan)】	【D(Do)】	【C(Check)】	【A(Action)】	次年度に向けた見直しの方向性
当初計画	**これまでの取り組み状況**	**見えてきた課題**	**見えてきた課題に対する改善策**	
(1) プロ・トップチームの誘致等 ① 既存チーム継続に向けた誘致 ・KVCAや市町村と連携した誘致活動や受入体制の強化 ② 新規チームの誘致 ・KVCAやスポーツコミッション、競技団体等と連携した新たなチーム・種目の誘致 ③ 高知ファイティングドッグス、高知USCとの連携 ・ホーム戦観客者増に向けた委託業務 ・チームと連携した「どっぷり高知旅」のPR等 **(2) アマチュアスポーツの誘致** ① 合宿・大会の誘致 ・KVCAや競技団体等と連携した既存チームの誘致 ・旅行会社（スポーツ専門）と連携した誘致 ・他部局、県外事務所と連携した誘致 ・大阪体育大学との連携協定に基づく当大学のクラブやOB・OG所属チームの誘致 ② スポーツ大会の開催支援 ・市町村等へのKVCAの助成制度の周知 ・「スポる！KOCHI」による情報発信（開催案内等） **(3) その他** ・KVCAとの戦略会議（毎月） ・スポーツツーリズムによる経済効果の算出・公表	**(1) プロ・トップチームの誘致等** ① 既存チーム継続に向けた誘致 ・オリックス（高知フェア開催 4/15） ・西武ライオンズ　（知事トップセールス・高知フェア開催 4/30） ② 新規チームの誘致 ・男子バレーボール「広島サンダーズバレーボール教室」（６/21） ③ 高知ファイティングドッグス、高知USCとの連携 ・ホーム戦観客者増等に関する委託業務締結（4/1） ・高知ファイティングドッグス庁内販売（４/10）、庁内放送（随時） ・阪神タイガース、高知ファイティングドッグス交流試合・交流イベント（４/16） ・高知ファイティングドッグスを応援する県民会議DAY開催（5/16） ・高知USC 活動支援（ふるさと納税実施等）（4月～7月） ・高知USCホーム戦県内・県外向けSNS PR（随時） ・高知USCアウェイ戦（岐阜、神奈川）で観光PR等 ・高知USCホーム戦で観光PR等（全試合） **(2) アマチュアスポーツの誘致** ・合宿リピーターの確保・誘致 （KVCAから過去３年に合宿助成金利用団体へメール案内）（6月） ・県外の就職支援協定大学等に案内チラシを送付（７月） ・旅行会社（スポーツ専門）訪問（6月～） ・県内スポーツ協会や就職支援協定締結大学への助成情報の案内 ※ 助成金実績（R7.4月～ 6月：11件（申請含む）） **(3) その他** ・KVCAとの戦略会議（4月～）	**(1) プロ・トップチームの誘致等** ・プロキャンプ観戦者の増加に向けた受け入れ体制の充実 ・スポーツ施設の老朽化 ・宿泊施設の確保 ・実施時期の分散化 ・関係機関との連携強化 ・情報発信の強化 ・屋内競技におけるプロ・トップチームの誘致 ・高知USCのJ3参入に伴うクラブへの支援やクラブと連携したスポーツツーリズムに資する施策が必要 **(2) アマチュアスポーツの誘致** ・スポーツ施設の老朽化 ・宿泊施設の確保 ・誘致種目の多種目化 ・実施時期の分散化 ・関係機関との連携した誘致活動の強化 ・情報発信の強化 ・予約状況の可視化	**(1) プロ・トップチームの誘致等** ・キャンプ会場での飲食ブースの拡充や観光PRの強化（市町村、観光協会との連携強化） ・施設管理者等との改修に向けた協議の継続 ・旅館組合等との協議の継続 ・連携協定等を活用した誘致活動の実施 ・高知USCのJ3参入を契機としたスポーツツーリズムの推進に向けた取組強化 ・県民体育館の再整備を見据えたバレーボールなど屋内競技の新たなチームの誘致 **(2) アマチュアスポーツの誘致** ・集落活動センター等を活用した中山間地域での宿泊施設の確保 ・KVCAや市町村、関係機関と連携した戦略的な誘致活動の実施 ・スポる!KOCHIや関係機関等と連携した情報発信の強化 ・県内各スポーツ施設のkintone導入による予約状況の一元管理	**○屋内競技など新たなプロ・アマチュアスポーツチームの誘致** **○インバウンド向けスポーツツーリズムの強化** **○高知USC等と連携したスポーツツーリズムの推進**

重点事業の取組状況確認資料（令和7年度6月末時点）　【施策の柱③　スポーツを通じた活力ある県づくり】

事業名	事業概要	令和９年度末の到達目標	令和７年度末の目標値	実績 （R７.６月末時点）	６月末時点の達成度
地域の特色を活かしたスポーツツーリズムの推進	地域の特色を活かしたスポーツツーリズムを推進し、地域経済の活性化やスポーツ参加の拡大、競技力の向上につなげる	1　スポーツによる県外からの入込客数 **：12万人** 2　「スポる！KOCHI」のセッション数 **：182,500セッション以上**	**1：9万人** **2：255,500セッション以上**	**1：35,140人** **2：35,557セッション**	**1：(C)** **2：(D)**

【P(Plan)】	【D(Do)】	【C(Check)】	【A(Action)】	次年度に向けた見直しの方向性
当初計画	**これまでの取り組み状況**	**見えてきた課題**	**見えてきた課題に対する改善策**	
(1) 自然を活かしたスポーツツーリズムの推進 ・KVCAや市町村と連携した開催支援（助成金、情報発信） ・「スポる！KOCHI」による情報発信 **(2) サイクルツーリズムの推進** ・国費を活用したサイクリングコンテンツの磨き上げ、受入れ環境整備等の実施 ・ぐるっと高知サイクリングロードのPR（展示会出展等） ・サイクルオアシス登録店の見直し、設備の拡充（サイクルスタンド、空気入れ、ノボリ設置等の見直し） ・四国４県連携（1,000kmチャレンジの推進） ・セトウチヴェロの協議会（中四国連携） ・「スポる！KOCHI」による情報発信（体験記、コース紹介等） **(3) 高知龍馬マラソンの開催** ・安心安全な大会運営 ・定員1万人（フルマラソン）を超えるエントリーの確保等	**(1) 自然を活かしたスポーツツーリズムの推進** ・市町村、広域観光協議会への周知（4月～）（助成制度、スポる！KOCHI） **(2) サイクルツーリズムの推進** ・サイクリングアイランド四国会議（5/９） ・セトウチヴェロ担当者会議in神戸（5/28） ・嶺北地域、物部川地域でのサイクリングを活用したインバウンド向けツアーの内容について調整（６月～） ・サイクルオアシスの新たな支援、再整備の内容について調整（６月～） **(3) 高知龍馬マラソンの開催** ・あり方検討会の設置（大会の魅力向上、あり方検討等）（６月～）（年３回開催予定） ・第１回高知龍馬マラソン総会（6/11） ・参加賞Tシャツデザイン募集（7/1～8/31） ・ランナー募集（8/1～10/31） ・ランニングセミナー実施（全7回）	**(1) 自然を活かしたスポーツツーリズムの推進** ・地域の担い手の確保 ・情報発信の強化 **(2) サイクルツーリズムの推進** ・インバウンドの対応に必要な受入れ環境の整備 ・県内サイクリストの状況に係る定量的な把握 ・サイクルオアシス設置施設の拡大 ・四国４県連携事業を活用したインバウンド誘致の強化 **(3) 高知龍馬マラソンの開催** ・マラソン大会の過剰供給、ランナー人口減少による地方大会の参加者が減少 ・競合大会である「かがわマラソン」が新たに開催される ・人件費や物価の高騰に対応した運営費の確保 ・持続可能性の担保（ボランティアの確保等） ・ランナー確保に向けた大会の魅力づくり	**(1) 自然を活かしたスポーツツーリズムの推進** ・市町村等との連携強化 **(2) サイクルツーリズムの推進** ・関係機関との連携強化 ・観光庁の補助金等の紹介 ・市町村、関係機関 と連携した戦略的な推進活動の実施 ・四国４県連携事業のインバウンド誘致に向けた関係団体等とのさらなる連携 **(3) 高知龍馬マラソンの開催** ・SNSの効果的な活用 ・県内外のスポーツイベント等にブース出展等を行い、周知を強化 ・大会ゲストを活用した情報発信を実施 ・新規協賛企業の獲得 ・新規団体へのアプローチによるボランティアの増 ・大会をより良いものとする為のあり方検討会の開催	**○インバウンド向けスポーツツーリズムの強化**

重点事業の取組状況確認資料（令和7年度6月末時点）　【施策の柱③　スポーツを通じた活力ある県づくり】

事業名	事業概要	令和９年度末の到達目標	令和７年度末の目標値	実績 （R７.６月末時点）	６月末時点の 達成度
スポーツを通じた国際交流	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウン等で関係を構築した国等との相互交流や、国内で実施される国際大会に出場する海外チームの事前合宿の受け入れにより、地域経済の活性化やスポーツ参加の拡大、競技力の向上につなげる	**海外とのスポーツ交流が継続的に行われている。**	**－**	**－**	**－**

【P(Plan)】	【D(Do)】	【C(Check)】	【A(Action)】	次年度に向けた見直しの方向性
当初計画	**これまでの取り組み状況**	**見えてきた課題**	**見えてきた課題に対する改善策**	
(1) ホストタウン等の国等との相互交流 ・シンガポールスポーツスクールへ訪問（７月） **(2) 海外チームの事前合宿等の誘致** ・国際大会等の関係機関からの情報収集 ・ホストタウン国への誘致活動 ＜シンガポール・トンガ・オーストリア・キルギス＞ 大使館への事前合宿受入れ可能施設の案内送付 ＜チェコ・スロバキア＞ 陸上チームの世界陸上事前合宿受入れ調整 ＜オーストラリア＞ 高知県ソフトボール協会との交流(8月)	**(1) ホストタウン等の国等との相互交流** シンガポールスポーツスクールへ訪問 ・受託事業者との契約（5/21） ・関係者との協議・調整（4月～） ・選手団（バトミントン、卓球）が訪問予定（７/20～26） **(2) 海外チームの事前合宿等の誘致** ・スロバキア陸上チームの受け入れ （20名、春野総合運動公園、９/1～10）	**(1) ホストタウン等の国等との相互交流** ・連携協定を締結していない競技団体などの海外チームとの交流を促す取組が必要 **(2) 海外チームの事前合宿等の誘致** ・受入体制の充実及びチームとのコミュニケーションの充実	**(1) ホストタウン等の国等との相互交流** ・関係団体と連携強化 ・スポーツだけでなく他分野での交流促進 ・競技団体などが行う海外との相互交流を支援制度を検討する **(2) 海外チームの事前合宿等の誘致** ・施設側との連携及びチームとのコミュニケーションの強化	○スポーツを通した国際交流の拡大に向けた支援の充実

参考資料3

令和７年度　各部局のスポーツ関連施策の取組状況

○第３期高知県スポーツ推進計画の総括評価基準

評価区分	達成状況
S	数値目標の達成率　110%以上
A	〃　100%以上110%未満
B	〃　85%以上100%未満
C	〃　70%以上　85%未満
D	〃　70%未満
―	達成度の判断が困難なもの

令和7年6月末時点

令和7年度　各部局のスポーツ関連施策の取組状況

担当部局 （担当課）	施策の柱 施策の方向性 事業実施計画	令和７年度の当初計画	令和７年度の取り組み状況 【令和７年６月末時点】	課題と今後の取り組み予定	目指すべき姿 （令和９年度の到達目標）	令和７年度の到達目標に対する令和７年６月末の到達状況
総合企画部 （中山間地域対策課）	【施策の柱】 スポーツを通じた活力ある県づくり 【施策の方向性】 （４）産学官民によるスポーツを支える体制の充実 【具体的な施策】 33ページ	**（1）集落活動センター推進事業費補助金** ・補助制度（センター立ち上げの際の初期投資や、既存センターでの取り組みの拡充等を支援）を活用し、スポーツ合宿の受入体制整備を支援 **（2）集落活動センターへの誘客の仕組みづくり** ・観光振興スポーツ部等と連携し、スポーツ合宿の受け入れに向けたPRを実施 ・関係人口創出プロジェクト「いこうち！」を活用したボランティアスタッフの募集	**（1）集落活動センター推進事業費補助金** ・地域本部等を通じて、市町村や集落活動センターに補助制度を周知 ⇒現時点で補助制度の活用なし（スポーツ合宿関連） **（2）集落活動センターへの誘客の仕組みづくり** ・土佐巡里の配布によるPR 市町村、観光協会（５月） 県内の道の駅、観光施設（6月） ・ボランティアスタッフの募集によるスポーツ大会などの運営サポート 汗見川清流マラソン（7月・本山町）※受入募集中 **【受入実績（６月末見込み）】** ①宿泊（2施設）※一般の受け入れ含む 集落活動センターであいの里蜷川（※延べ114人泊） 集落活動センターおちめん（※延べ387人泊） 合計　延べ501人泊 ②食の提供（2施設） ＜土佐西南大規模公園＞ 集落活動センターであいの里蜷川（※延べ1回200食） ＜須崎市立スポーツセンター＞ 集落活動センターうらのうち（※延べ18回2,153食） 合計　延べ19回2,353食	**（1）集落活動センター推進事業費補助金** 既存センターにおいては、マンパワー不足により、これ以上のスポーツ合宿の受け入れは難しい状況。 今後、新たにスポーツ合宿などの宿泊事業を検討するセンターに対しては、補助制度を活用した施設整備を提案し、受入体制の充実を図る。 **（2）集落活動センターへの誘客の仕組みづくり** スポーツ合宿は夏休みや冬のオフシーズンに集中しており、受入数をさらに拡充していくためには、合宿の分散化に向けた誘致が必要。 引き続き、市町村や観光振興スポーツ部と連携したPRを実施することで、宿泊施設としての認知度の向上を図り、通年における宿泊受入数の増加に取り組む。 また、スポーツ大会の運営に係るスタッフが不足しているため、ボランティア募集により運営体制の強化を図る。	◆スポーツによる県内の交流人口が拡大している ◆スポーツによる県外からの誘客が増加している KPI:延べ宿泊者数 R9：4,000人 【参考：過去実績】 ①宿泊 R5年度：3,611人 R6年度：3,947人 ②食の提供 R5年度：10,049人 R6年度：11,176人	－
総合企画部 （交通運輸政策課）	【施策の柱】 スポーツ参加の拡大 【施策の方向性】 （３）障害者がスポーツに親しめる環境づくり 【具体的な施策】 22ページ	**（1）地域公共交通支援事業費補助金** ①生活交通路線を運行する乗合バス事業者及び市町村に、低床車両導入に対する補助を実施（R７当初要望　購入７両、低床化改造０両） ②バス停留所・鉄道の駅舎のバリアフリー対応に対する補助を実施（R７当初要望なし） **（2）バス運行対策費補助金** 複数市町村を横断し運行を行う乗合バス事業者に、低床車両導入に対する補助を実施（R７当初：８両）	**（１）地域公共交通支援事業費補助金** ①生活交通路線を運行する乗合バス事業者及び市町村に、低床車両導入に対する補助を実施 ○車両購入（当初要望７両） ・申請状況：２両の申請あり ・残５両についてはR7.7月～9月に申請予定 ・導入予定時期：R７.12月～R８.3月 ○低床化改造（当初要望０両） ・申請状況：０件 ・導入予定時期：なし ②バス停留所・鉄道の駅舎のバリアフリー対応に対する補助を実施 補助制度について、市町村担当者会（７月）において活用事例も含めて周知。 ○バス待合所トイレのバリアフリー化（当初、要望なし） ・申請状況：１件 ・導入予定時期：R7.８月 **（2）バス運行対策費補助金** 複数市町村を横断し運行を行う乗合バス事業者に、低床車両導入に対する補助を実施 ○車両購入（R7当初要望８両） ・申請状況：０件 ・８両についてはR7.8月～10月に申請予定 ・導入予定時期：R7.10月～12月	**（１）地域公共交通支援事業費補助金** ①低床車両導入に対する補助 本県の低床車両導入率は、事業者に車両を購入するだけの資金余力がないなどの要因もあり、49.30%と四国平均（65.70%）を下回る状況（R6.3末時点）。 令和７年度も導入が進むものの、依然として導入率は低調であることから、事業者に対して、引き続きバリアフリー化の意義や乗降時の安全性の向上、乗務員の負担軽減といった効果など、バリアフリーに関する意識の醸成を図り、低床車両の導入を促進する。 ②バス停留所・鉄道の駅舎のバリアフリー対応に対する補助 事業者から市町村に対して補助の要望はあるものの、補助にあたって費用負担が生じることが市町村が二の足を踏む原因となっている事例あり。 市町村担当者会等、機会を捉えて取組の趣旨、効果の周知徹底を図ることにより、バリアフリー化を進めていく。 **（２）バス運行対策費補助金** （１）①と同じ	◆障害者のスポーツ参加が拡大している （１）地域公共交通支援事業費補助金 【参考：過去実績】 R５年度： 購入６両 改造０両 R６年度： 購入５両 改造３両 （２）バス運行対策費補助金 【参考：過去実績】 R５年度：9両 R６年度：10両	－

令和7年度　各部局のスポーツ関連施策の取組状況

担当部局 （担当課）	施策の柱 施策の方向性 事業実施計画	令和７年度の当初計画	令和７年度の取り組み状況 【令和７年６月末時点】	課題と今後の取り組み予定	目指すべき姿 （令和９年度の 到達目標）	令和７年度の 到達目標に対する 令和７年６月末の 到達状況
健康政策部 （保健政策課）	【施策の柱】 スポーツ参加の拡大 【施策の方向性】 （６）スポーツを通じた健康増進や生きがいづくり 【具体的な施策】 25ページ	**高知家健康パスポートと連携したスポーツ参加機会の拡充** ①健康パスポート事業を活用した総合型地域スポーツクラブの利用促進 ・アプリやHPでの広報 ②スポーツイベント等でのインセンティブの提供（ヘルシーポイント付与） ・ウオーキング大会等のスポーツイベントへの参加や、県内運動施設利用でヘルシーポイントを付与 ③健康パスポートアプリによるウオーキングの促進 ・１日に8,000歩（65歳以上は6,000歩）以上歩くなど日常の健康づくりに対してヘルシーポイント付与 ・個人の歩数目標設定機能によりそれぞれの活動レベルに応じた健康づくりを支援 ・アプリを活用したウオーキングイベント等の実施（年間３回実施予定） ④健康パスポートアプリのお知らせ通知機能を活用した、健康行動の勧奨に関する情報発信 ・市町村及び県からアプリユーザーに対するスポーツイベント等の情報発信 ⑤働きざかりへの総合啓発の実施 ・健康づくりひとくちメモ等による啓発 ※KPI（R7年度目標値）： ・パスポートアプリダウンロード件数（男性）→24,800件 ・日常生活における歩数 20-64歳（男女）：8,000歩 65歳以上（男女）：6,000歩 ※代替指標（県民世論調査）：１日の平均歩数8,000歩未満の割合減少	**高知家健康パスポートと連携したスポーツ参加機会の拡充** ①健康パスポート事業を活用した総合型地域スポーツクラブの利用促進 ・アプリやHPでの広報 →スポーツクラブ利用者によるヘルシーポイント付与 Ｒ７年（５月末時点）：のべ3,264人 ②スポーツイベント等でのインセンティブの提供（ヘルシーポイント付与） ・ウオーキング大会等のスポーツイベントへの参加や、県内運動施設利用でヘルシーポイントを付与 →のべ35,977人が参加・利用（５月末時点） ③健康パスポートアプリによるウォーキングの促進 ・１日に8,000歩（65歳以上は6,000歩）以上歩くなど日常の健康づくりに対してヘルシーポイント付与 ・個人の歩数目標設定機能によりそれぞれの活動レベルに応じた健康づくりを支援 ・アプリを活用したウオーキングイベント等の実施 ９月：健康チャレンジコラボイベント 10月：事業所対抗ウォーキングイベント（事業所） 11月：四国対抗ウォーキングイベント（個人） ※他イベントは日程調整中 ④健康パスポートアプリのお知らせ通知機能を活用した、健康行動の勧奨に関する情報発信 ・市町村及び県からアプリユーザーに対するスポーツイベント等の情報発信：２回（５月末時点） ⑤働きざかりへの総合啓発の実施 ・健康づくりひとくちメモ（運動編）：テレビ放送１回 ※KPI： ・パスポートアプリダウンロード件数（男性）（Ｒ７年６月末）→22,178件 ・日常生活における歩数（Ｒ６年度） ※代替指標（県民世論調査）：１日の平均歩数8,000歩未満の割合：67.7%	**高知家健康パスポートと連携したスポーツ参加機会の拡充** 【課題】 ・男女とも歩数が少なく、全国平均を下回っている。 ・アプリダウンロード件数は順調に増加しているが、女性に対して男性の件数が少ない。 【今後の取り組み予定】 ・職場と連携したイベントを通じダウンロード件数を増やし、運動の取り組みを後押しする。	◆健康管理に取り組む人が増え、運動習慣など保健行動の定着が図られている （Ｒ９年度目標） ・パスポートアプリダウンロード件数（男性）：27,100件 ・日常生活における歩数 20-64歳（男女）：8,000歩 65歳以上（男女）：6,000歩 【参考：過去実績】 R5年度 ・パスポートアプリダウンロード件数（男性） →17,169件 ・日常生活における歩数 若年男性6,777歩、若年女性4,572歩 高齢男性6,247歩、高齢女性4,134歩 R6年度 ・パスポートアプリダウンロード件数（男性） →21,585件 ・日常生活における歩数 <20～59歳> 代替指標 （県民世論調査：１日の平均歩数8,000歩未満の者の割合） （R6）男性：77.3% 女性：85.0% <60歳以上> 代替指標 （県民世論調査：１日の平均歩数6,000歩未満の者の割合） （R6）男性：71.9% 女性：77.5% ※R6年度以降の目標値は「第5期日本一健康長寿県構想」（R6~R9）に準ずる	・パスポートアプリダウンロード件数（男性）： **B（進捗率89.4%）**

令和7年度　各部局のスポーツ関連施策の取組状況

担当部局 （担当課）	施策の柱 施策の方向性 事業実施計画	令和７年度の当初計画	令和７年度の取り組み状況 【令和７年６月末時点】	課題と今後の取り組み予定	目指すべき姿 （令和９年度の到達目標）	令和７年度の 到達目標に対する 令和７年６月末の到達状況
子ども・福祉政策部 （長寿社会課）	【施策の柱】 スポーツ参加の拡大 【施策の方向性】 （１）身近な地域でスポーツに親しめる場の拡充 （６）スポーツを通じた健康増進や生きがいづくり 【具体的な施策】 20、25ページ	**高齢者の生きがいと健康づくり推進事業** 高齢者が健康で生きがいをもって社会生活ができるような各種取り組みを支援することにより、高齢者福祉の推進を図る。 ①こうちシニアスポーツ交流大会の開催 ・大会の開催 種目別競技会（20種目）の開催 （4/12～5/18） ②ねんりんピックへの選手派遣支援 （高知県社会福祉協議会への補助金交付） ・ねんりんピック岐阜：開催期間10/18～10/21 総合開会式（10/18） 競技会（10/18～10/21） ③ろうれんピック開催支援 （県老人クラブ連合会への補助金交付） ・開催日 東部大会（安芸市）　室内競技　5/22 屋外競技　10/1 中部大会（高知市）　室内競技　6/11 屋外競技　10/15 西部大会（宿毛市）　室内競技　5/30 屋外競技　10/28	**高齢者の生きがいと健康づくり推進事業** ①こうちシニアスポーツ交流大会の開催 種目別競技会（20種目）の開催（4/12～5/18） ・参加者数 990人（※20種目の総数） 17種目（健康マージャン、囲碁、将棋を除く）の開催 【4/26】剣道 【5/7】ペタンク 【5/8】水泳、マラソン、ゲートボール、ターゲット・バードゴルフ、グラウンド・ゴルフ、太極拳、ソフトボール（1日目）、ソフトテニス 【5/９】パークゴルフ 【5/10】ボウリング 【5/11】バウンドテニス、ソフトバレーボール 【5/15】ソフトボール（2日目）、テニス、卓球 【5/17】弓道 ②ねんりんピックへの選手派遣支援（予定） ねんりんピック岐阜2025(10/18～21) ・総合開会式（10/18）　競技会（10/18～10/21） ③ろうれんピック開催支援（予定） 東部大会（安芸市）5/22・10/1 中部大会（高知市）6/11・10/15 西部大会（宿毛市）5/30・10/28	**高齢者の生きがいと健康づくり推進事業** こうちシニアスポーツ交流大会やろうれんピックについては、新型コロナウイルス感染症拡大により大幅に減少した参加者数が回復していない。 高齢者の継続的な健康づくりを推進するため、引き続き各市町村の老人クラブにおける健康づくりや介護予防の取り組みを支援する。	◆スポーツを通しての交流を図り、健康づくりや介護予防につなげる。 高齢者が健康で生きがいをもって社会生活ができるようになる 【参考値】 ・こうちシニアスポーツ交流大会の参加者* R5年度：949人 R6年度：892人 *17種目（健康マージャン、囲碁、将棋を除く）	－
土木部 （公園上下水道課）	【施策の柱】 スポーツ参加の拡大 【施策の方向性】 （１）身近な地域でスポーツに親しめる場の拡充 【具体的な施策】 20ページ	**春野総合運動公園の整備** プロ野球キャンプ（R8.2想定）の利用開始に向けて、屋内運動場の整備推進を図る。 （屋内運動場 設備） ・投球練習（ブルペン）６レーン ・テニスコート（人工芝）２面 ①建築主体工事：R7.2.26～R7.12.7 ②機械設備工事：R7.3.31～R7.12.9 ③電機設備工事：R7.5.28～R7.12.7	**春野総合運動公園の整備** ①～③屋内運動場の関連工事を施工中 ①建築主体工事は、外壁部材の一部設置完了	**春野総合運動公園の整備** ・着実に整備等を進めていき、屋内運動場の利用を開始する。 ・R8.2：プロ野球キャンプ（想定） ・R8.3：一般利用開始	【参考：過去実績】 R5年度～R6年度 詳細設計、造成工事完了	－

令和7年度　各部局のスポーツ関連施策の取組状況

担当部局 （担当課）	施策の柱 施策の方向性 事業実施計画	令和７年度の当初計画	令和７年度の取り組み状況 【令和７年６月末時点】	課題と今後の取り組み予定	目指すべき姿 （令和９年度の到達目標）	令和７年度の到達目標に対する令和７年６月末の到達状況
教育委員会 （保健体育課）	【施策の柱】 スポーツ参加の拡大 【施策の方向性】 （１）身近な地域でスポーツに親しめる場の拡充 【具体的な施策】 19ページ	**部活動の地域連携・地域展開（地域移行）に向けた取組の推進** 公立中学校の部活動の地域展開（地域移行）に向けて、県内有識者等による「検討会議」において対応を協議し、令和13年度までの県の方針等を本年度中に策定する。 地域展開（地域移行）が可能なクラブについては、早期に対応を進める。 また、顧問に代わり専門的な指導ができる部活動指導員を配置することで、教員の負担軽減を図るとともに、生徒が専門的な指導を受けられる環境を整備する。 **【R７目標】** 拠点校部活動：**5**部活動 地域クラブ　　：**10**クラブ **【参考：国の動向】** 令和７年５月に国の有識者会議から、「令和８～13年度を部活動改革実行期間とし、休日については原則、全ての学校部活動において地域展開（地域移行）の実現を目指す」等の提言が示されたところ。 → 令和７年冬以降に今後の国の方針（予算措置含む）が決定される見通し 他方で、教職員の給特法改正により、令和11年度までに時間外勤務を平均月30時間程度に削減する目標が定められたこともあり、部活動改革をさらに進める必要性が高まっている。	**部活動の地域連携・地域展開（地域移行）に向けた取組の推進** **①部活動地域連携等支援事業** ○部活動地域連携等実証事業 ・国費を活用した地域移行に向けた実証事業 ３市（南国市、四万十市、土佐清水市） ・拠点校部活動（地域連携）に向けた実証事業 ５市町（高知市、いの町、四万十町、四万十市、宿毛市） ○その他 ・県教委への「部活動総括コーディネーター」配置 ・各市町村への訪問及び協議会等への参加 （７市町村のべ10回 ＋ 全６地区） **【市町村教育委員会認定数】** 拠点校部活動：**9**部活動 地域クラブ　　：**41**クラブ **②運動部活動指導員配置事業** ○運動部活動指導員の配置状況（6.1時点） ・高等学校　　：20校53人 ・県立中学校　　：３校４人 ・市町村立中学校：17市町村39校72人※申請数 ・合計　　：**129**人	**部活動の地域連携・地域展開（地域移行）に向けた取組の推進** **①部活動地域連携等支援事業** 【課題】 ・地域展開（地域移行）の受け皿となるスポーツ団体等の不足 【今後の取組】 検討会議において県の方針等を協議し、年度内の県ガイドライン改訂に取り組む。 また、各市町村を訪問し、県の方針を踏まえ、受け皿団体の整備を促す。 ・高知県における部活動地域連携・地域移行検討会議（2回） ・幹事会（２回） ・実証事業に係る事業報告会及び市町村意見交換会（１回） ・部活動改革に関するアンケート [対象]小5･6年生、中1･2年生とその保護者、中学校教員 [時期]7/1～7/31 **②運動部活動指導員配置事業** 【課題】 地域での指導者不足、指導者の質の確保 【今後の取組】 大学との連携を含め、指導者確保の拡充に向けた協議・検討を行う。 また、各種研修により、指導者の質の確保・向上を図る。 ・大学との協議（７月～） ・県立学校への配置に係る研修 ・指導力向上研修会（10月頃）	◆県内全市町村が、地域の実情に応じた部活動改革の取組を実施することで、子どもたちのスポーツ活動の機会確保につながっている 【参考：過去実績】 Ｒ５　拠点校部活動：0部 地域クラブ：５クラブ Ｒ６　拠点校部活動：4部 地域クラブ：25クラブ ◆生徒が部活動において、専門的な指導を受けることができる体制が整備されている 【参考：過去実績】 Ｒ５：132人 Ｒ６：136人	**S**

新県民体育館の整備等について

資料２

目　的

施設の老朽化が著しい県民体育館をスポーツ活動はもとより多様な活用ができる施設として再整備し、さらなるスポーツ振興や生きがいづくり、賑わいの創出など魅力ある県づくりにつなげる。

現施設の概要・課題

○**設置年**：昭和48年（1973年）　○**所在地**：高知市桟橋通2丁目1番53号
○**面　積**：敷地面積10,714㎡、建築面積6,094㎡、延床面積8,901㎡
○**施設内容**
　＊主競技場：1945.30㎡（39.7m×49m）観客席(固定)1,572席
　＊補助競技場：786.48㎡（23.2m×33.9m）
　＊屋内プール：25m×８コース　＊駐車場：82台　　＊空調設備：有り

○**主な課題**
・老朽化等により、修繕コストがかかるとともに利用に支障が生じている
・土日祝や平日夜間の利用率が高く、ニーズに対応しきれていない
・全国規模の大会やイベントなどに対応するためには観客席や駐車場が不足している
・プロスポーツなどのトップチームの大会の開催が一部の競技に限定されている

これまでの検討状況

外部有識者で構成する「**県立スポーツ施設のあり方検討会**」おいて、以下の内容を整理（※R6.7月～R6.12月に４回の検討会を開催）

1．基本方針策定に向けた重点ポイント

(1)スポーツ×エンタメ
○全国規模の競技大会やプロスポーツの試合、コンサートなど、県内外から若者や子育て世代が集い、楽しめる空間を創出
○全県規模の競技大会等の主たる施設として整備

(2)スポーツ×防災
○災害発生時において、施設利用者の一次避難が可能な施設として整備

(3)同種施設との役割の明確化
○周辺の同種施設の状況を踏まえ、県立のスポーツ施設として優先的に整備する機能・規模等を整理し実情に即した施設を整備

(4)ユニバーサルなデザイン
○すべての人が利用しやすいデザインを考慮した整備

2．新施設の機能・規模
○**必要なフロア面積を確保**するとともに、大規模大会やプロスポーツ、多分野のイベントの開催が可能な**アリーナ機能を整備**することが望ましい
○フロアや附帯設備などに**多様な活用を想定した機能**を整備することが望ましい
○**災害時の避難を想定した整備**をすることが望ましい
○誰もが**自由に集える憩いのエリア**をつくることが望ましい

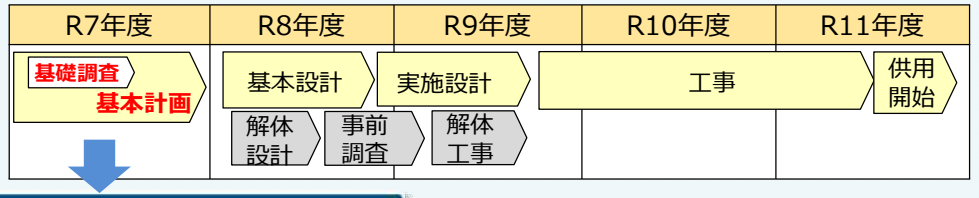
3．整備候補地
○交通アクセスの利便性を活かし、**県民体育館の現有地に整備**することが望ましい

4．今後のスケジュール　※右に記載のとおり

今後のスケジュール

○R６年度の検討会で整理した内容を踏まえ、令和７年度に基本計画を策定し、令和11年度中の供用開始を目指して取り組む

※今後の検討を踏まえて適宜見直しを行う



R7年度の取組内容

新 ○基本計画検討会の設置・運営及び基本計画の策定
　・委員：外部の有識者等10名程度　　・会議：6回

新 ○基本計画の策定に係る基礎調査の実施

＜基礎調査の主な内容＞
・必要な機能・規模の分析
・ステークホルダーの分析
・市場調査の実施
・概算事業費の算出
・効果的な整備手法及び管理運営の分析　　等

＜基本計画の主な内容＞
・基本方針
・施設整備計画
・管理運営計画
・事業費
・整備効果
・スケジュール　　等

「新県民体育館整備等基本計画検討会」の進捗状況について

R7.6.23 スポーツ課

4月　5月　6月　7月　8月　9月　10月　11月　12月　1月　2月　3月

基本計画検討会

検討会委員の委嘱

第１回（7/4）

＜協議内容＞
・計画の背景　・検討の経緯
・施設の概要　・敷地の概要
・周辺の状況　・ニーズ調査結果
・候補地調査結果
・集約化の可能性　・R7検討の流れ
＜承認事項＞
・検討内容及びスケジュール→決定

第２回

＜協議内容＞
・整備の基本的な考え方
・施設全体構成案　・事業費（概算）
・防災機能の在り方　・コスト削減対策
・収益化の見通しと対応
＜承認事項＞
・整備の基本的な考え方（基本方針）→決定
・施設全体構成、事業費、防災機能の在り方、コスト削減対策、収益化の見通しと対応→継続審議

第３回

＜協議内容＞
・施設全体構成　・整備内容案　・防災機能の在り方
・コスト削減対策　・収益化の見通しと対応
＜承認事項＞
・施設全体構成→決定
・整備内容案、防災機能の在り方、コスト削減対策、収益化の見通しと対応→概ね決定するが必要に応じて継続審議

第４回

＜協議内容＞
・基本計画（骨子案）　＊整備の基本的な考え方（基本方針）＊施設整備計画　＊事業費
・管理運営　・周辺環境への配慮事項及び要請事項
＜承認事項＞
・基本計画（骨子案）→決定だが詳細部分は継続審議も想定

第５回

＜協議内容＞
・基本計画（案）
＜承認事項＞
・基本計画（案）→大筋決定し最終決定は次回

第６回

パブコメ

＜協議内容＞
・基本計画（案）
＜承認事項＞
・基本計画（案）→決定

基本計画策定委託業務

【委託業者】日本総合研究所・昭和設計・ハウジング総合コンサルタント共同企業体

契約

→成果物提出（７月初旬）
・ニーズ調査結果
・候補地調査結果
・集約化の可能性

→成果物提出（８月中旬）
・施設全体構成のイメージ図
・事業費（概算）

→成果物提出（９月初旬）
・基本計画（骨子案）

→成果物提出（11月初旬）
・基本計画（案）

→成果物提出（2月初旬）
・基本計画（最終案）

議会

6月議会
【主な報告事項】
・検討会の概要　・スケジュール

９月議会
【主な報告事項】
・基本的な考え方　・施設全体構成案

12月議会
【主な報告事項】
・基本計画（骨子案）

2月議会
【主な報告事項】
・基本計画（案）

検討事項

基本計画骨子（案）ができた段階で、「ＰＦＩ導入可能性調査」スタート

プール・武道館のあり方（移転含む）検討

９月議会報告（プール、現武道館の方向性）

旧南消防署跡地及び高知市青年センター（アスパル）グラウンドの利用を高知市と協議

土地使用貸借契約の締結（見直し）に向けた協議

R8当初予算協議（PFIアドバイザリー業務委託又は基本・実施設計委託業務、解体設計・工事、事前調査委託）

基本計画検討会　委員一覧

【 委 員 】　※五十音順

No.	氏名	所属・役職	専門分野	No.	氏名	所属・役職	専門分野
1	刈谷　好孝	(公財)高知県ｽﾎﾟｰﾂ協会　専務理事	競技ｽﾎﾟｰﾂ	8	前田　和範	高知工科大学経済・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学群講師	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ
2	寛藤　次男	高知県柔道協会　会長	武道	9	丸　朋子	大阪成蹊大学経営学部ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学科　講師	ｽﾎﾟｰﾂﾋﾞｼﾞﾈｽ
3	坂本　淳	高知大学教育研究部自然科学系理工学部門　講師	防災	10	森　恒一郎	土佐経済同友会　観光推進委員会委員長	観光
4	高岡　幸史	高知市文化観光ｽﾎﾟｰﾂ部　部長	自治体	11	渡邊　英孝	高知県立障害者ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ　所長	障害者ｽﾎﾟｰﾂ
5	玉乃井　欣樹	(一社)ｺﾝｻｰﾄﾌﾟﾛﾓｰﾀｰｽﾞ協会　理事	コンサート	【アドバイザー】			
6	久川　俊秀	高知市文化ﾌﾟﾗｻﾞかるぽーと　館長	文化	No.	氏名	所属・役職	専門分野
7	古谷　純代	高知商工会議所　副会頭	商工	1	原田　宗彦	学校法人浪商学園　理事・大阪体育大学学事顧問（前大阪体育大学　学長）	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ

全体のスケジュール

○令和７年度に、**スポーツ、観光・文化、防災等の外部有識者で組織する検討会での議論のうえ、基本計画を策定**
○令和11年度中の供用開始を目指して取り組むが、従来手法によらず、新たな整備・運営手法（PFIなど）を採用する場合は、供用開始は後ろ倒しになる可能性

※今後の検討を踏まえて適宜見直しを行う

R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
基礎調査 基本計画	基本設計 / 解体設計 / 事前調査	実施設計 / 解体工事	工事	供用開始

高知県立県民体育館多目的グラウンド及びテニスコートの供用開始について

資料３

事業の概要

①高知南中学校・高等学校跡地（令和５年３月閉校）のグラウンド、テニスコートについて、当面の間、スポーツ振興等で有効活用する。
②令和７年３月28日に高知県立県民体育館の設置及び管理に関する条例の一部改正条例を公布し、規則で定める日（令和７年９月１日予定）より施行する。
③令和７年９月１日からの一般利用開始に向けて、指定管理者を公募・選定。

管理・運営体制

【管　　理】指定管理者（株式会社高知犬）による管理運営
利用調整、鍵の貸出、利用料金収受、施設の維持管理、スポーツ備品の調達等
【委託期間】令和７年８月１日～令和12年３月31日（４年８月）
【予 算 額】３５，３７５千円（税込）
【利用時間】午前９時から午後５時まで　※休館日：12月29日～1月3日

施設の概要

【施設の名称（所在地）】高知県立県民体育館多目的グラウンド及びテニスコート
（高知桟橋通６－２－１（高知南中学校・高等学校跡地））

【施設の規模】

多目的グラウンド	サッカー区域	13,229.77㎡
〃	野球区域	9,270.23㎡
テニスコート		クレイコート２面 オムニコート２面
駐車場	学校駐車場の一部を多目的グラウンド及びテニスコート利用者用とする。	

＜高知南中学校・高等学校跡地 平面図＞

・・・行政財産として活用

利用料（基準額）

【単位：円/時間】　※下段( )は税込

		学生	一般
多目的グラウンド	サッカー区域（全面）	550 (600)	1,095 (1,200)
	サッカー区域（半面）	280 (300)	550 (600)
	野球区域	550 (600)	1,095 (1,200)
テニスコート（１面）		230 (250)	460 (500)

スケジュール

令和７年度　→　令和８～11年度

6月議会

公募・選定　→　協定締結　→　指定管理（8/1～）　→　期限 R12.3.31

利用開始（9/1～）

※公募 4/1～4/30（30日間）
※選定審査委員会　5/9

改修工事・備品整備　→　引渡

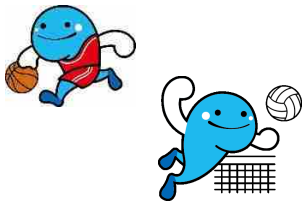
旧高知南中学校・高等学校体育館設計等委託料 《設備保守等委託料》

《学校安全対策課》
R7年度６月補正予算　17,843千円

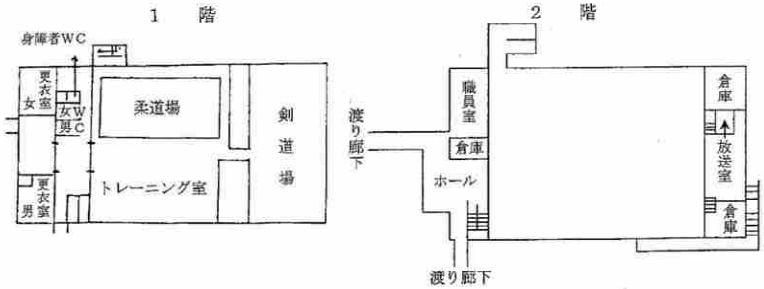
概　要

県民体育館の再整備に伴い、県民の日常的なスポーツ活動の場を確保するため、旧高知南中学校・高等学校の体育館を今後20年間程度活用するための整備を行うもの。 ⇒ 今年度に**実施設計等**、令和８年度に工事等を行う

【体育館の概要】
- ○築 年 数　昭和62年３月完成・築38年経過
- ○構　　造　ＲＣ造
- ○延床面積　4,290.19㎡
- ○施設内容　1階：柔道場、剣道場、トレーニング室
  2階：体育館
- ○そ の 他　令和５年３月閉校



実施設計後に予定している主な工事内容（令和８年度）	
①照明のLED化	ハロゲン球や蛍光灯の製造中止に伴う照明のＬＥＤ化
②消火設備の新設及び消火設備用受水槽設置	「学校施設」から「一般施設」への用途変更に伴う必要な消火設備の整備
③水道工事	飲料水用の水道管引き込み
④床張替	老朽化した床の張り替え
⑤非構造部材耐震化	天井・バスケットゴール等の落下防止対策
⑥トイレ改修	和式から洋式への改修



整備スケジュール

	令和７年度									令和８年度		令和９年度
	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月			
旧南高校体育館		実施設計等								工事等		**使用開始** ※スポーツ課へ移管
県民体育館										解体設計	事前調査	**解体工事**